Pioneer sound.vision.soul

コンパクトHi-Fiシステム

X-Z9
X-Z7

インターネットによる登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため、他の機器や壁等から間隔をとり、ラックに入れる場合はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：**
付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

● スピーカーのトゥイーター部には強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないでください。振動板を破損する恐れがあります。

● お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス(+)マイナス(－)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

● 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。

- 機器本体のSTANDBY/ON ボタンで電源を切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠注意

- 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

本機の放熱について

- 本機を設置する場合には、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から5 cm以上、背面から10 cm以上、側面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

もくじ

1 はじめに

2 接続する

3 各部の名称

4 SACD/CD を聞く

5 ラジオを聞く

6 ホームメディアギャラリーを聞く

第 1 章：

はじめに

再生できるディスクの種類

- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

SACD

CD

CD-R

CD-RW

コピーコントロールCDについて

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDiscの再生について

「DualDisc」は片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないため、再生できないことがあります。
なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

本機で再生できないディスクの種類

DVD、CD-G、ビデオCD

■ 本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

市販のSACD(スーパーオーディオCD)

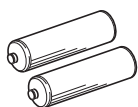
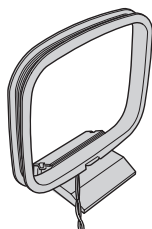
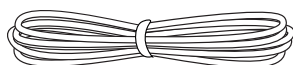
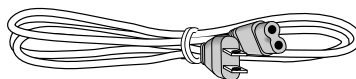
市販の音楽用CD、またはCD-DAフォーマットで音声が記録されたCD-R/RW

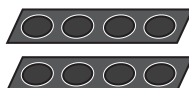
WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM

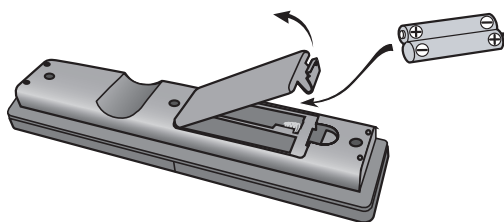
本機は世界最高峰のスタジオエンジニアとの共同音質チューニングを実施しています。（協力：エアースタジオ）

付属品の確認

- リモコン ×1

- 単3形乾電池（AA/R6）（動作確認用）×2

- AMループアンテナ ×1

- FM簡易アンテナ ×1

- 電源コード ×1

- スピーカーコード ×2

- 滑り止めパッド ×8

- クリーニングクロス（X-Z9のみ）×1
- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- ネットワークセットアップガイド

リモコンに電池を入れる

1. 矢印の方向に、裏ブタを開く

2. ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる

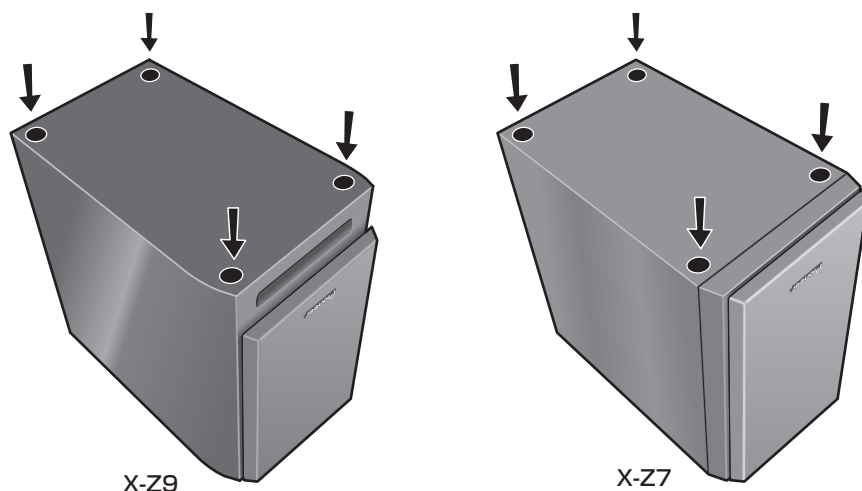
3. 裏ブタを閉める

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

第２章：
接続する

スピーカーを設置する

スピーカーに滑り止めを貼る

左右のスピーカーの底面の四隅に付属の滑り止めパッドを貼り付けます。

スピーカーの設置場所について

- X-Z9のみ
  本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、まれに設置のしかたによっては、色むらが生じる場合があります。
  X-Z7のみ
  本機は低磁気漏洩設計ですので、テレビに近づけて使用できますが、設置のしかたによっては、色むらが生じる場合があります。

  色むらが生じた場合は、一度テレビの電源を切り、15分から30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色むらを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石や磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- スピーカーを壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。また、棚の上などの高い場所にも設置しないでください。本機のスピーカーの前面グリルは取り外すことができるため、しっかりと取り付けられていないとグリルが外れて落ちたときにケガの原因になることがあります。

スピーカーグリルの着脱

本機のスピーカーは前面のグリルを取り外すことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. グリルの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張ってグリルの下側を外します。
2. 同じように、グリルの上側を手前に引っ張り、グリルを本体から外します。
3. 取り付けるときは、グリルの上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

本機を接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

X-Z7

スピーカーコードは、
ラインが入っているほうを
⊕端子に接続してください。

黒 (−)　赤 (+)

X-Z9

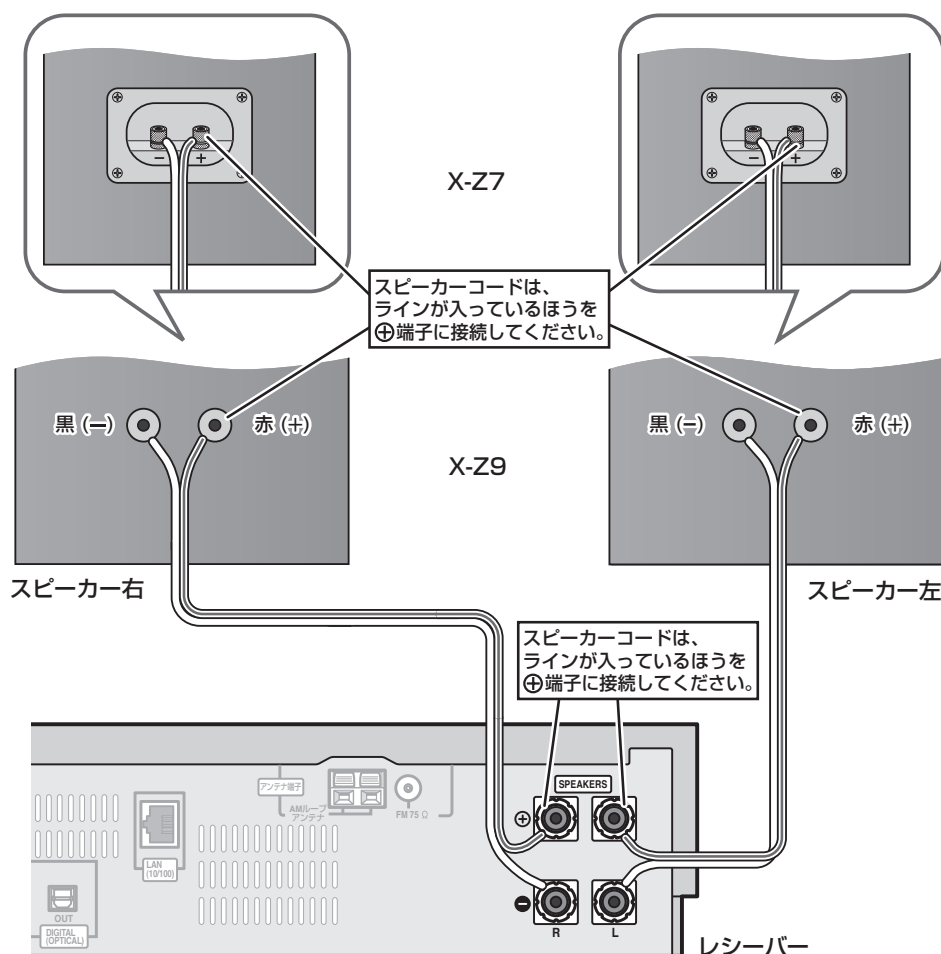
黒 (−)　赤 (+)

スピーカー右

スピーカー左

スピーカーコードは、
ラインが入っているほうを
⊕端子に接続してください。

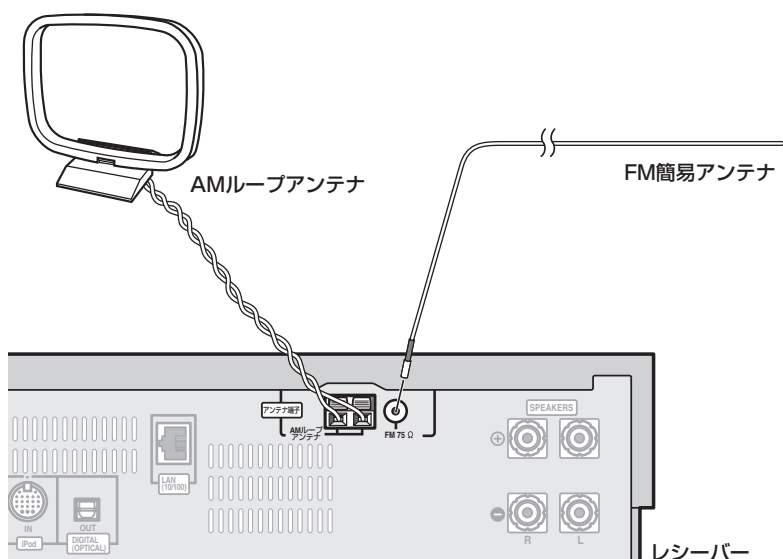
SPEAKERS

R　L

レシーバー

1. スピーカーコードを接続する

先端の被覆はねじりながら引き抜きます。
レシーバーとスピーカーの各端子の極性は赤がプラス ⊕ 、黒がマイナス ⊖ です。
⊕ 端子はライン入りのコードで、 ⊖ 端子はライン無しのコードでつなぎます。

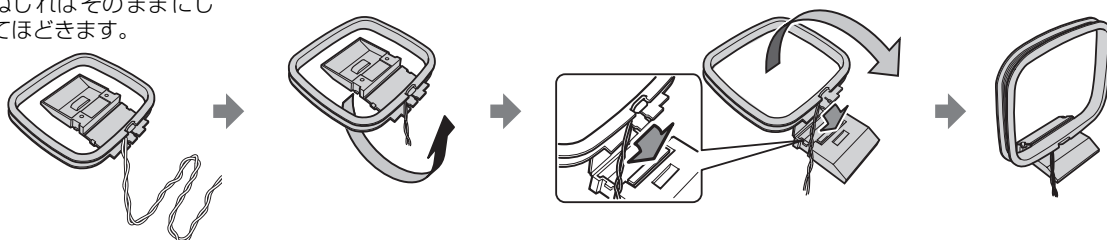
☑ メモ

- 本機のスピーカーを他のアンプに接続しないでください。故障や火災の原因となることがあります。
- 付属のスピーカー以外のスピーカーは本機に接続しないでください。故障や火災の原因となることがあります。
- 端子に接続したあと、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全ですと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプ回路に過大な負荷が加わって音が出なくなったり、電源がオフになることがあります。
- スピーカーシステムの極性(⊕、⊖)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。

2. AM ループアンテナを組み立てる

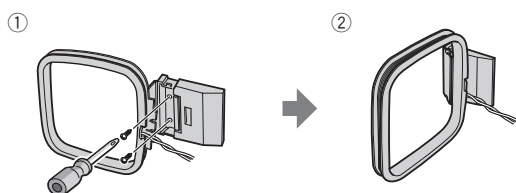
① **コードがねじれて巻かれている部分まで**を、ねじれはそのままにしてほどきます。

② 台を外側に出します。

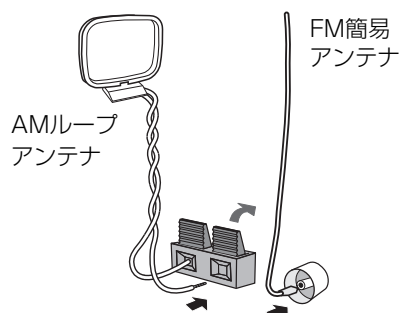
③ 突起部を溝にはめます。

④ 完成

壁に取り付けるには...

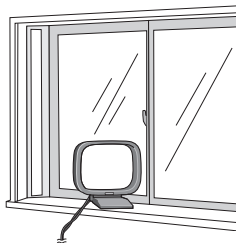
市販のネジや画びょうなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

①　②

3. AM ループアンテナと FM 簡易アンテナを接続する

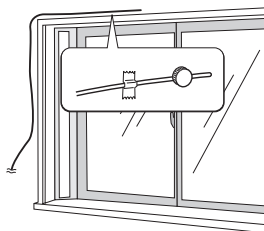
① AM ループアンテナ接続端子のツメを押しながら、AM ループアンテナのケーブルを端子に差し込みます。
ケーブルを差し込んだらツメから指を離します。

② FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。

アンテナの設置について

AMループアンテナ：

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機や各接続ケーブルから離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコンやテレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

- できるだけ窓の近くに置くなど、場所や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

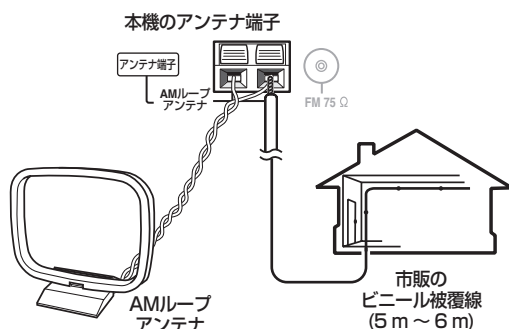
FM簡易アンテナ：

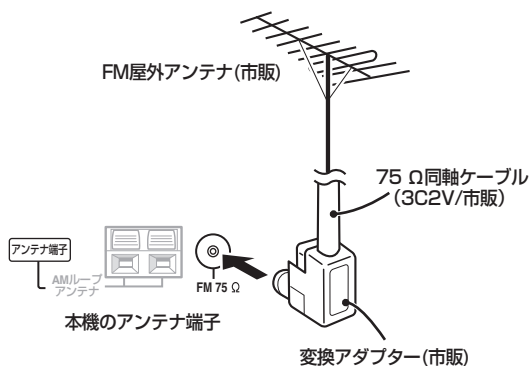
- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼り付けます。

- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。より良い受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

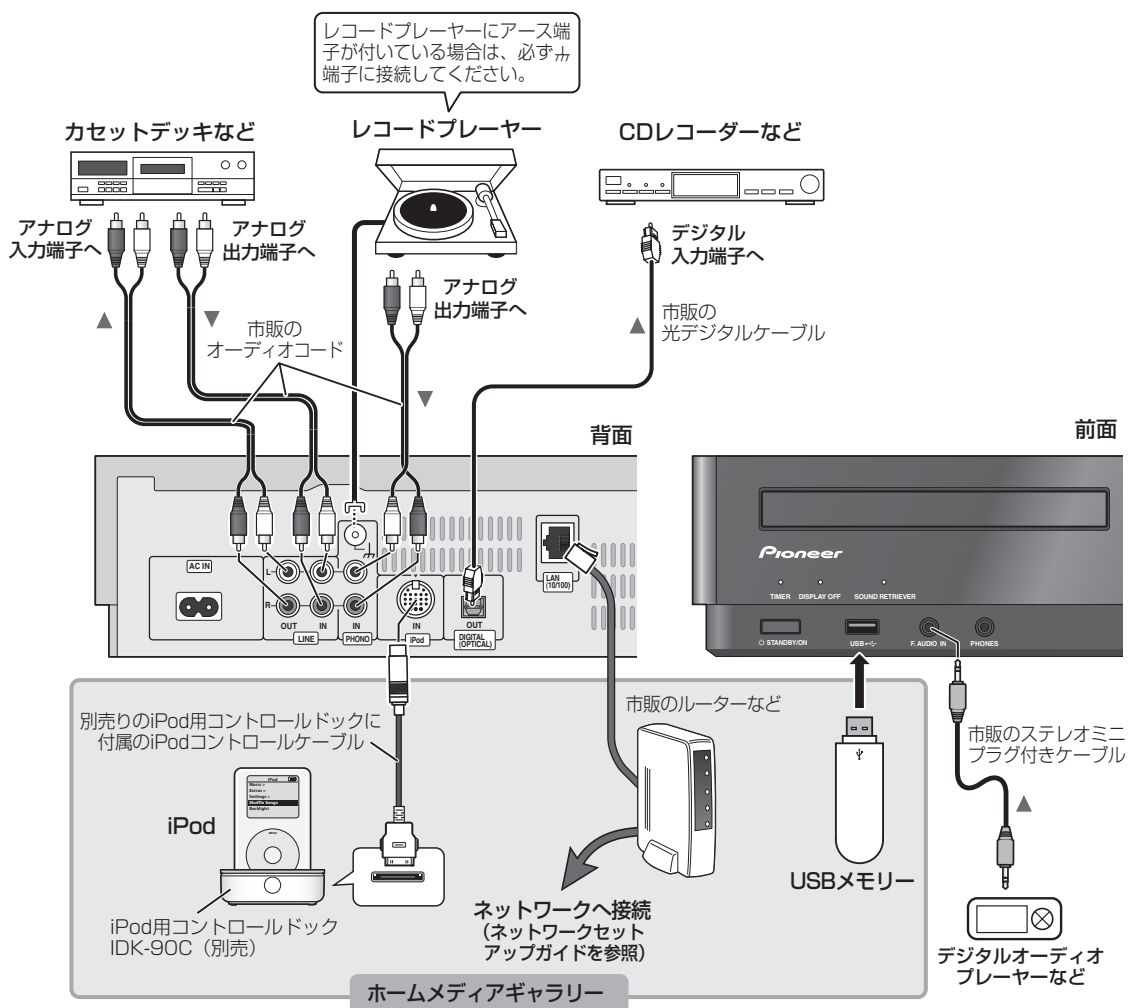
付属アンテナでよく聞こえないときは

付属のAMループアンテナやFM簡易アンテナでは放送がよく聞こえないときは、市販の外部アンテナを接続してください。

AM外部アンテナをつなぐ：

付属のAMループアンテナを接続したまま、AM外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM屋外アンテナをつなぐ：

市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

☑ **メモ**

- 付属のアンテナまたは上記の外部アンテナ以外の接続は行わないでください。
- FM放送がよく聞こえないときは、「FM放送の雑音を減らす」(25ページ)を参照して操作してください。

4. 外部機器を接続する

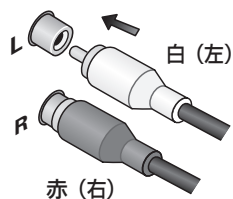
外部機器を接続するケーブルは、本機には付属していません。外部機器の接続について、詳しくは「外部機器を接続する」(40 ページ) をご覧ください。

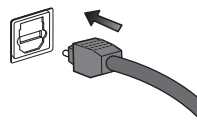
外部機器の音声を聞くには、リモコンの INPUT ボタンを繰り返し押して、LINE、PHONO または FRONT AUDIO IN を選択します。

iPod や USB メモリー、ネットワークオーディオ、インターネットラジオは、ホームメディアギャラリーで聞きます。詳しくは「ホームメディアギャラリーを聞く」(28 ページ) をご覧ください。

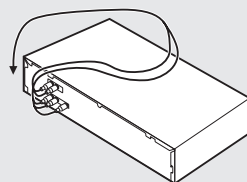
- F.AUDIO IN 端子にケーブルを接続すると、自動的に本機の入力（ファンクション）が切り換わります。（目覚ましタイマーで電源オンしている場合は除きます。）

■ iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

オーディオコードのつなぎかた

白いプラグはL(左)端子、赤いプラグはR(右)端子につなぎます。必ず奥までしっかりと差し込んでください。

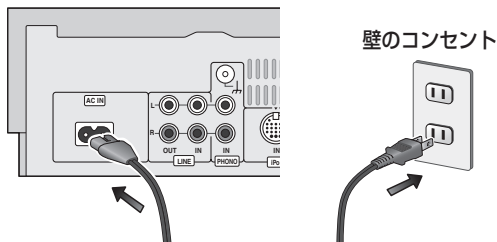
光デジタルケーブルのつなぎかた

接続の際は端子の向きを合わせてください。
誤った向きでむりやり挿入すると、端子が変形し、ケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。
プラグにホコリが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

☑ 注意

- レコードプレーヤーはMM型カートリッジタイプをご使用ください。
- PHONO端子にレコードプレーヤー以外の機器またはイコライザー内蔵レコードプレーヤーを接続しないでください。大音量を出力し、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
- イコライザー内蔵レコードプレーヤーを本機に接続する場合は、LINE IN端子に接続してください。
- 右図のように、本機の上に接続コードを曲げて放置すると、スピーカーからノイズが出る場合があります。接続コードなどはこのような状態にしないでください。

☑ メモ

- カセットデッキを設置する場所によっては、再生したときに雑音などが発生する場合があります。これは本機からのリーケージフラックス（漏れ磁束）などの影響によるものです。このようなときには、設置する場所を変えるか、本機から離して設置してください。

5. 電源コードをつなぐ

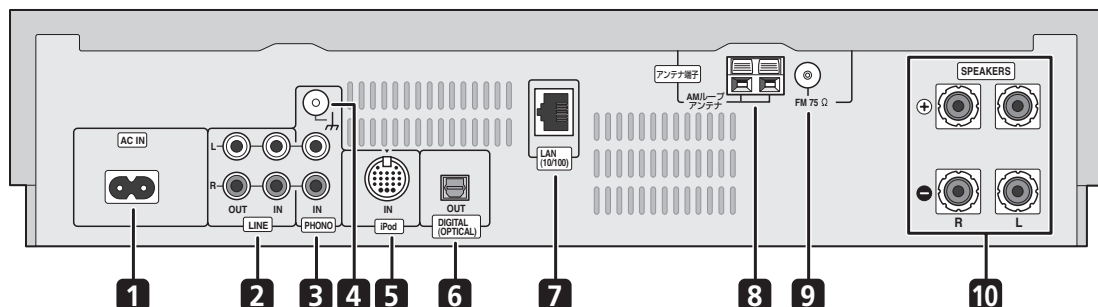
すべての接続が終了したら、電源コードを本体の AC インレット (AC IN) と壁のコンセント (AC 100 V) に接続します。

☑ 注意

- 本機の電源コードは着脱式ですが、付属しているコード以外の電源コードは使用しないでください。

☑ メモ

- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。電源コードを抜くときは必ず本機の電源をスタンバイにしてから抜いてください。

第３章：
各部の名称

本体背面

1　AC IN端子
電源コードを接続します。

2　LINE IN/OUT端子
外部機器を接続します。LINE IN 端子に接続した機器の音声を聞くには、リモコンの INPUT ボタンを押して LINE を選択します。

3　PHONO IN端子
レコードプレーヤーを接続します。レコードプレーヤーの音を聞くには、リモコンの INPUT ボタンを押して PHONO を選択します。

4　PHONO用GND端子
レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるものです。安全アースではありません。

5　iPod IN端子
別売りの iPod 用コントロールドック IDK-90C に付属している iPod コントロールケーブルを使用して、iPod を接続します。(29 ページ)

6　DIGITAL(OPTICAL)OUT端子
本機で再生した CD の音声を他機器で録音したりするときに接続します。

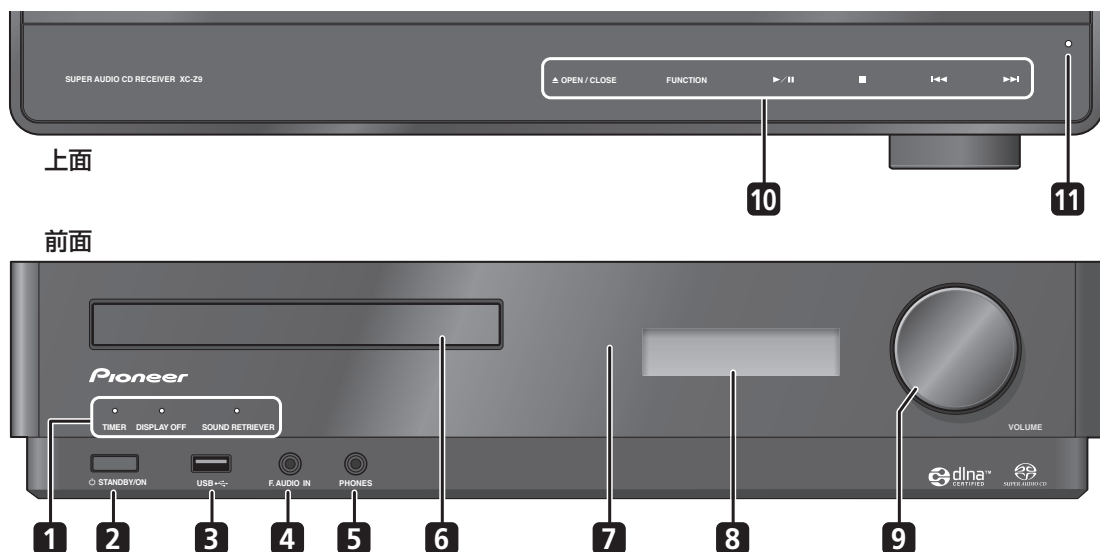
7　LAN(10/100)端子
ホームメディアギャラリーでネットワークオーディオやインターネットラジオを聞く場合に接続します。詳しくはネットワークセットアップガイドをご覧ください。

8　AMループアンテナ端子
付属の AM ループアンテナを接続します。(12 ページ)

9　FMアンテナ端子
付属の FM 簡易アンテナを接続します。(12 ページ)

10　SPEAKERS端子
付属のスピーカーコードを使用して、スピーカーを接続します。

本体前面／上面

前面

前面

1　TIMERインジケーター
タイマー機能の動作の状態を示します。(46、47ページ)

DISPLAY OFFインジケーター
前面表示窓の表示をオフにしているときに点灯します。(48 ページ)

SOUND RETRIEVERインジケーター
サウンドレトリバー機能が有効なときに点灯します。(43 ページ)

2　⏻ STANDBY/ONボタン
電源をオン / スタンバイにします。

3　USB入力端子
音楽ファイルの入った USB メモリーを接続します。(29 ページ)

4　F.AUDIO IN端子
ステレオミニプラグ付きケーブルを使用して、外部機器を接続します。

5　PHONES端子
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16 Ω ～ 50 Ω（推奨 32 Ω)、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

6　ディスクトレイ

7　リモコン受光部

8　前面表示窓
本機のさまざまな動作の状態を表示します。
本機を操作しないときは、約 3 分ごとに表示が反転します。(48 ページ)

9　VOLUMEつまみ
音量を調節します。

上面

10 タッチセンサー
文字やマークの中央部分を軽く触れて操作します。

≜ OPEN/CLOSE
ディスクトレイを開閉します。

FUNCTION(入力切り換え)
押すたびに以下のように切り換わります。

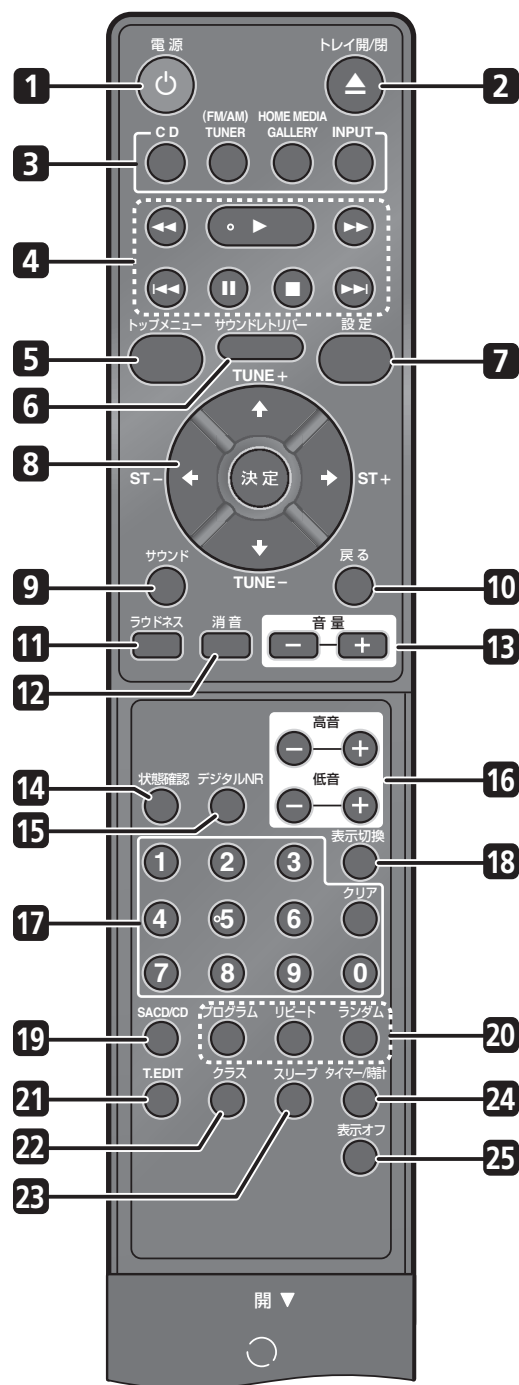
►/II
再生 / 一時停止します。

■
再生を停止します。

I◄◄
再生中の曲の始めに戻ります。

►►I
次の曲に進みます。

11 アクションインジケーター
タッチセンサーを操作したときに点灯します。

リモコン

1 ⏻**電源ボタン(19ページ)**

2 ⏏**トレイ開/閉ボタン(20ページ)**

3 **入力（ファンクション）切り換えボタン**

CDボタン
CDやSACDを聞くときに使用します。(20ページ)

(FM/AM)TUNERボタン
FM/AM放送を聞くときに使用します。(24ページ)

HOME MEDIA GALLERYボタン
ホームメディアギャラリーでネットワークオーディオやインターネットラジオ、USBメモリー、iPodの音楽を聞くときに使用します。(31、33、35、36ページ)

INPUTボタン
外部機器の音楽を聞くときに使用します。押すたびにLINE、PHONO、FRONT AUDIO INの順番で入力が変わります。(41ページ)

4 **再生操作ボタン**（20、31、35、36ページ）

▶
再生します。

❚❚
一時停止します。

■
再生を停止します。

◀◀
再生中の曲を早戻しします。

▶▶
再生中の曲を早送りします。

|◀◀
再生している曲の始めに戻ります。

▶▶|
次の曲に進みます。

5 **トップメニューボタン**
ホームメディアギャラリーでカテゴリー画面の選択に使用します。(31、33、35、36ページ)

6 **サウンドレトリバーボタン**
サウンドレトリバー機能を切り換えるときに使用します。(43 ページ)

7 **設定ボタン**
各種設定を行います。

8 **⬆⬇⬅➡/決定ボタン**
各種設定およびモードの選択や切り換え、決定などに使用します。

9 **サウンドボタン**
サウンドモードの切り換えに使用します。(42 ページ)

10 **戻るボタン**
各種設定など行っているときに、1つ前の項目に戻る場合に使用します。

11 **ラウドネスボタン**
ラウドネス機能を切り換えるときに使用します。(42 ページ)

12 **消音ボタン**
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

13 **音量+/−ボタン**
音量を調節します。（右記）

14 **状態確認ボタン**
音質設定の状態確認をするときに押します。(43 ページ)

15 **デジタルNRボタン**
外部機器の入力やラジオ音声のノイズを低減させるときに押します。(43 ページ)

16 **高音+/−、低音+/−ボタン**
高音および低音の音質を変えるときに使用します。(42 ページ)

17 **数字/クリアボタン**
聞きたい曲やラジオステーションの番号を入力したり、呼び出しをするときに使用します。

18 **表示切換ボタン**
CD（SACD）やホームメディアギャラリーで再生している曲の表示を切り換えます。（22、37 ページ）

19 **SACD/CDボタン**
SACDの再生エリアを切り換えます。(22 ページ)

20 **再生コントロールボタン**

プログラム
CD（SACD）再生の順番を登録したり、ホームメディアギャラリーのお気に入りを登録するときに使用します。（22、32、33ページ）

リピート
CD（SACD）やホームメディアギャラリーで曲を繰り返し再生するときに使用します。（21、32、35、37ページ）

ランダム
CD（SACD）やホームメディアギャラリーで曲を順不同に再生するときに使用します。（21、32、36、37ページ）

21 **T.EDITボタン**
インターネットラジオの放送局を記憶させるときに使用します。(34 ページ)

22 **クラスボタン**
インターネットラジオの放送局を記憶させるクラスを指定したり、呼び出すときに使用します。(34 ページ)

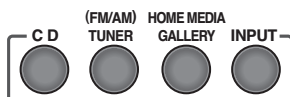
23 **スリープボタン**
スリープタイマーを設定するときに使用します。(47 ページ)

24 **タイマー /時計ボタン**
時計を表示させたり、時計や目覚ましタイマーをセットするときに使用します。（44 ～ 47 ページ）

25 **表示オフボタン**
本体表示窓を消灯させるときに使用します。(48 ページ)

音楽を聞くには（リモコンの操作手順）

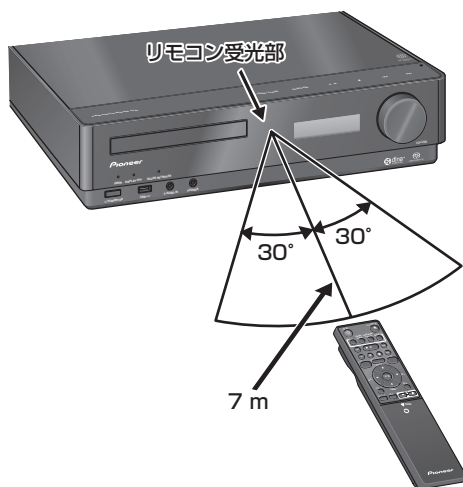
1. 電源
⏻ 電源ボタンを押して本機の電源をオンにする

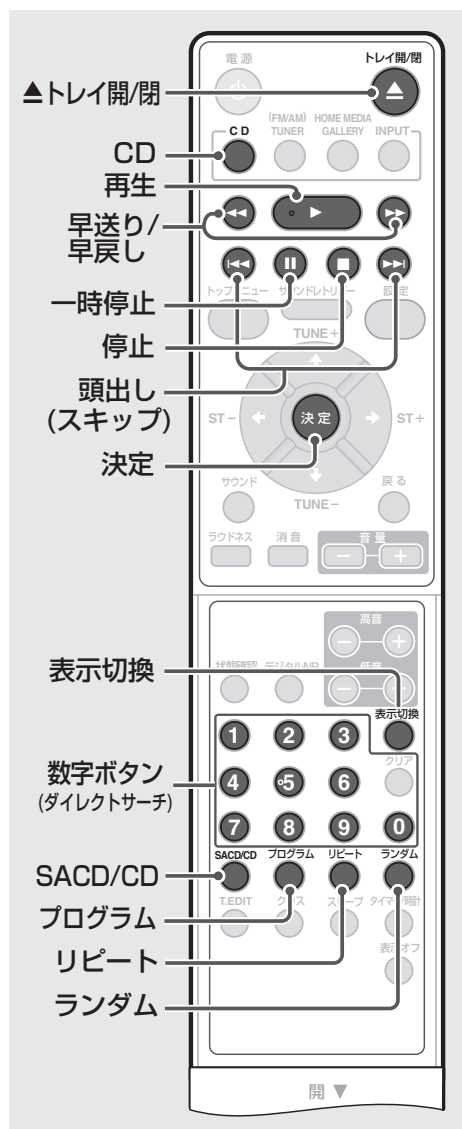
2. **入力（ファンクション）切り換えボタンを押して、聞きたい入力（ファンクション）を選ぶ**

3. **音楽を再生する**（20、28ページ）

4. 音量
音量＋ /−ボタンを押して音量を調節する

5. 電源
音楽を聞き終わったら、⏻ 電源ボタンを押して本機の電源をスタンバイにする

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、下図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり､受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

第４章：
SACD/CD を聞く

☑ **メモ**

- WMA/MP3 の日本語のファイル名が表示できるのは、Jolietフォーマット(23ページ)で記録されたディスクです。
- WMA/MP3 のファイル名は最大 25 文字まで表示されます。本機で表示できない文字は"＃"と表示されます。

ディスクを再生する

本機でディスクを再生するには、以下の手順で操作します。

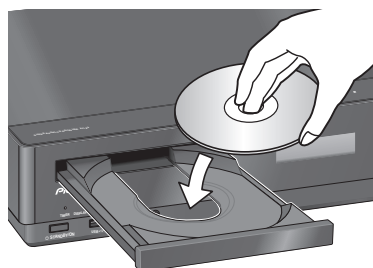
1. トレイ開/閉

≜トレイ開/閉ボタンを押す

入力（ファンクション）がCDに切り換わり、ディスクトレイが開きます。

- ディスクが入っている状態で CD 入力に切り換える場合は、CD ボタンを押します。

2. ディスクトレイにディスクをセットする

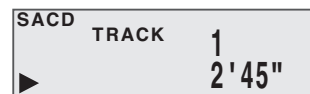
ディスクをセットしたら、≜**トレイ開/閉**ボタンを押してトレイを閉めてください。

3.

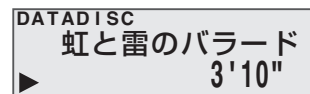
►(再生)ボタンを押す

ディスクの再生を開始します。

基本再生 SACD CD (R/RW) WMA/MP3

- **再生する**

SACD/CDの場合
再生を開始し、表示部にトラック番号と経過時間が表示されます。

WMA/MP3の場合
再生を開始し、表示部にファイル名と経過時間が表示されます。

DATADISC
虹と雷のバラード
3'10"

- **再生を一時停止する**

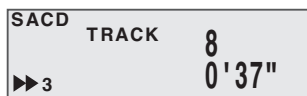
もう一度 ❚❚ボタンを押すか、►ボタンを押すと、続きを再生します。

- **再生を停止する**

早送り/早戻し再生

- **再生中に►► ボタン(または◄◄ボタン)を押す**

  ボタンを押すたびに速さを4段階まで切り換えることができます。

  SACD
  TRACK 8
  ►► 3 0'37"

  通常の再生に戻すには ►ボタンを押します。

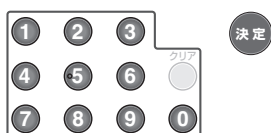
頭出し(スキップ)

- **再生中に►►|ボタン(または|◄◄ボタン)を押す**

  押した回数だけ曲をスキップします。

ダイレクトサーチ SACD CD

トラック番号を直接指定して再生することができます。

- **数字ボタンでトラック番号を入力して、決定ボタンを押す**

決定ボタンを押さなくても、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

SACD
Track 15

☑ **メモ**

- プログラム再生時はダイレクトサーチはできません。

繰り返し再生する(リピート)

再生している曲だけを繰り返す1 曲リピートと、ディスクの全曲を繰り返すディスクリピートがあります。

- **再生中にリピートボタンを押す**

  リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。

1曲リピートにすると「 」が、
ディスクリピートにすると「 」が点灯します。

☑ **メモ**

- ディスクを停止すると、リピート再生は解除されます。
- プログラム再生中に**リピート**ボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

順不同に再生する(ランダム)

すべての曲から順不同に選んで、各曲を1 回ずつ再生します。

- ランダム **ランダムボタンを押す**

  ランダム再生を開始します。表示部に「RDM」が点灯します。

☑ **メモ**

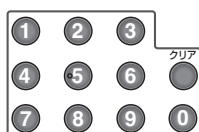
- ディスクを停止するか、**ランダム**ボタンをもう一度押すと、ランダム再生は解除されます。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に ►►|ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、|◄◄ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。
- 再生している曲より前の曲に戻ることはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

聞きたい曲を最大24曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. プログラム　**停止中にプログラムボタンを押す**

「PGM」が点灯します。

2. 聞きたい曲の番号を数字ボタンで入力して、決定ボタンを押す

15 曲目を選ぶときは、**数字**ボタンの 1 と 5 を押してから、**決定**ボタンを押します。入力を間違えたときは、**クリア**ボタンを押します。

SACD
PGM
P 1
Track 7

3. 手順 2 を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録する

4. ►**ボタンを押す**

プログラムした順に再生を開始します。
■ボタンを押すとプログラム再生を終了します。
再度プログラム再生をするときは、停止中に**プログラム**ボタンを押してから►ボタンを押します。プログラムを追加したいときは、再度手順1〜2を行います。

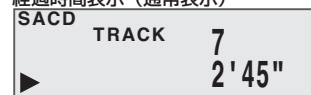
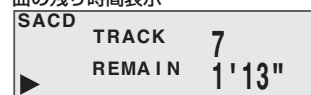
☑ **メモ**

- 停止中に**クリア**ボタンを押すと、プログラムされている内容をすべて消去します。
- 停止中に**プログラム**ボタンを押してから**クリア**ボタンを押すと、最後に登録した曲から順番に削除します。
- プログラム再生中に ►►|ボタンを押すと、次のプログラムの曲を再生します。

再生情報を見る

曲の経過時間表示のほかに、曲の残り時間またはディスク全体の残り時間の表示に切り換えることができます。

● 表示切換　**再生中に表示切換ボタンを押す**

ボタンを押すたびに以下のように表示が切り換わります。

SACDの再生エリアを切り換える

ハイブリッドSACDは、SACD層とCD層の２層構造になっています。本機で聞きたいエリアを選択します。

● SACD/CD　**停止中にSACD/CDボタンを押す**

押すたびにCD エリアとSACDエリアが切り換わります。

☑ **メモ**

- 本機はSACDマルチチャンネルには対応していません。

再生できるディスクについて

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

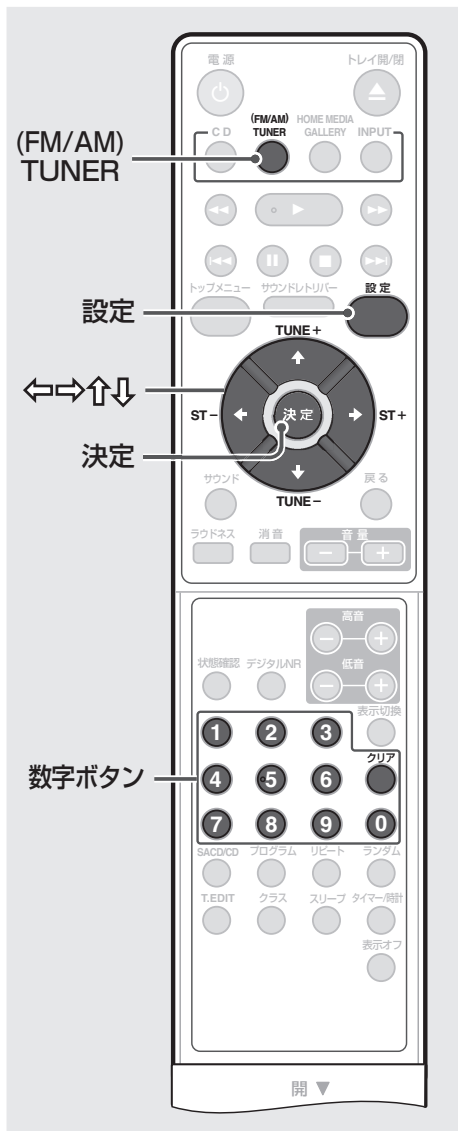
- 本機は音楽 CD フォーマット、MP3 や WMA の音楽データが記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- レコーダーまたはパソコンで記録されたディスクは、ディスクの特性や傷、汚れ、およびプレーヤー部のレンズの汚れや結露などにより再生できないことがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ISO9660 レベル 1/レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- マルチセッション（51 ページ参照）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- WMA または MP3 ファイルが記録されたディスクの場合、1 枚のディスクに最大 299 フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で 648 まで認識・再生できます。
- CD-R/CD-RW に記録された AAC ファイルは再生できません。

MP3 の再生について

- MPEG1 オーディオレイヤー3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）には対応していません (再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- 音質的には、記録ビットレート 128 kbps 以上を推奨します。

WMA の再生について

- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA ファイルは、Windows Media Player Ver.7, 7.1、Windows Media Player for Windows XP、または Windows Media 9 Series を使用してエンコードすることができます。
  Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）、またはロスレスエンコーディング（loss-less encoding）には対応していません。
- DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかった WMA ファイルは再生できません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 音質的には、記録ビットレート 128 kbps 以上を推奨します。

第５章：
ラジオを聞く

放送局を受信する

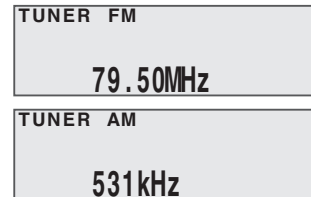
アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。12ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. (FM/AM) TUNER

TUNERボタンを押す

ラジオが聞ける状態になります。

TUNER　FM
79.50MHz

TUNER　AM
531kHz

TUNERボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

- FM チューナー選択時はアナログテレビ放送の 1 ～ 3 チャンネルも受信することができます。

2.

⇧ ⇩（TUNE＋/－）ボタンを押して、聞きたい放送局に周波数を合わせる

周波数の合わせかた（チューニング）には、以下の3通りがあります。

- **オートチューニング**

⇧ ⇩（TUNE+/−）ボタンを押し続けて、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度⇧ ⇩を押すか、**決定ボタン**を押します。

- **マニュアルチューニング**

⇧ ⇩（TUNE+/−）ボタンを1回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

- **ハイスピードマニュアルチューニング**

⇧ ⇩（TUNE＋/－）ボタンを押し続けます。
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

☑ **注意**

- 本機の FM 放送とテレビ音声は兼用の回路で受信しているため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

☑ **メモ**

- 放送局を受信すると、表示部に「Yᵢ))」が点灯します。
- FMステレオ放送受信時は、表示部に「ꝏ」が点灯します。ただし、FM Monoに設定している場合(25ページ)や、電波が弱い場合はステレオ音声にならず、「ꝏ」は点灯しません。
- テレビの1～3チャンネルを受信したときは、モノラル音声(2か国語放送は主音声のみ)となります。
- アナログテレビ放送は2011年7月で停波されることが決まっています。

FM 放送の雑音を減らす

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくすることができます。
通常は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える"FM Auto"に設定してください。

1. (FM/AM) TUNER

TUNERボタンを押して、FM放送を受信する

放送局の受信のしかたは、24ページを参照してください。

2. 設定

設定ボタンを押す

3.

⇧⇩ボタンで"Tuner Setup"を選んで、決定ボタンを押す

4. 決定

⇧⇩ボタンで"FM Auto/Mono"を選んで、決定ボタンを押す

5. 決定

⇧⇩ボタンで"FM Mono"を選んで、決定ボタンを押す

表示部に、「○」が点灯します。

FMステレオ放送をステレオで受信するように設定する場合は、"FM Auto"にします。

5 ラジオを聞く

放送局を記憶させる

本機に放送局を記憶させて、あとから簡単に呼び出すことができます。受信できる放送局を自動的に選曲して記憶させる方法と、受信している放送局を手動で記憶させる方法があります。
自動で記憶させるステーション（記憶番号）と手動で記憶させるステーションを合わせて、30ステーション記憶させることができます。

自動的に受信して放送局を記憶させる

受信可能な放送局を自動的に順次選局して、放送局ごとに記憶させます。

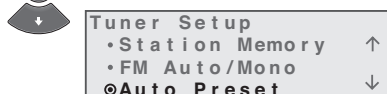
1. (FM/AM) TUNER

TUNER ボタンを押して受信可能な状態にする

2. 設定

設定ボタンを押す

3. **⇧ ⇩ ボタンで"Tuner Setup"を選んで、決定ボタンを押す**

4. **⇧ ⇩ ボタンで"Auto Preset"を選んで、決定ボタンを押す**

FM放送、AM放送の順に、自動的に選局が始まります。

5. 決定

選局されて表示が止まったら、決定ボタンを押して記憶させる

記憶させない場合は**クリア**ボタンを押します。

次の放送局の選局が始まります。

6. **手順５を繰り返して、放送局を順次記憶させる**

30 局まで記憶させるか、周波数が一巡すると、自動的に終了します。

☑ **メモ**

- 途中で中止するときは ■(停止)ボタンを押します。

受信している放送局を手動で記憶させる

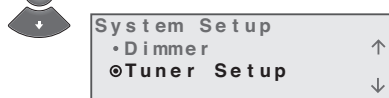
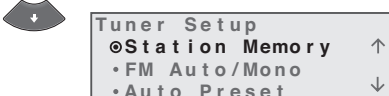
1. (FM/AM) TUNER

TUNER ボタンを押して、記憶させたい放送局を受信する

放送局の受信のしかたは、24ページを参照してください。

2. 設定

設定ボタンを押す

3. **⇧ ⇩ ボタンで"Tuner Setup"を選んで、決定ボタンを押す**

4. **⇧ ⇩ ボタンで"Station Memory"を選んで、決定ボタンを押す**

5. **⇧ ⇩ ボタンで、記憶させるステーションを選ぶ**

記憶させるためのステーションは1～30まであります。

6. 決定

決定ボタンを押して記憶させる

☑ **メモ**

- FM放送を記憶させる場合は、FM Auto/FM Monoの設定も一緒に記憶されます。
- すでに記憶されているステーションに違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。

記憶させた放送局を呼び出す

各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. **TUNERボタンを押す**

ラジオが聞ける状態になります。

2. **⇦ ⇨ (ST+/−)ボタンで、呼び出したいステーションを選ぶ**

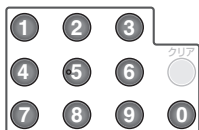
TUNER FM
Station-11
79.50MHz

リモコンの数字ボタンで呼び出す

記憶させた放送局を数字ボタンでダイレクトに選ぶことができます。

1. **TUNERボタンを押す**

ラジオが聞ける状態になります。

2. **呼び出したいステーションと同じ数字ボタンを押す**

（例）　ステーション2：　2

ステーション18：　1 8

3. **決定ボタンを押す**

数字ボタンを押して2秒以上待つと、**決定**ボタンを押さなくても自動的に選ばれます。

第６章：

ホームメディアギャラリーを聞く

本機のホームメディアギャラリー入力では、LAN端子を使って接続したパソコンなどの音楽ファイルや、インターネットラジオを聞くことができます。また、USB端子に接続されたUSBメモリーや、別売りのiPodコントロールドックを使用してiPodの再生をすることもできます。

ホームメディアギャラリーの特長

1. パソコン※にためた音楽ファイルを本機で再生

パソコン内に保存されているたくさんの曲を、本機で再生することができます。

⇨ 「ネットワークオーディオを聞く」(30 ページ)

2. インターネットラジオ放送の受信

パイオニア専用に編集、管理されている vTuner が提供する放送局リストからお好きな放送局を選んで再生することができます。

⇨ 「インターネットラジオを聞く」(33ページ)

3. USB メモリーに保存されている音楽ファイルを本機で再生

フォルダー / ファイルリスト画面を表示し、再生したい曲をダイレクトで再生することができます。

⇨ 「USBメモリーを再生する」(35ページ)

4. iPod を本機で操作、再生

別売りの iPod コントロールドック IDK-90C を使用して、iPod を本機で操作、再生することができます。

⇨ 「iPodを再生する」(36ページ)

※パソコン以外にも、DLNA1.0に準拠したメディアサーバー機能を持つ機器(たとえばネットワーク型ハードディスクやネットワーク対応のオーディオシステムなど)であれば本機で再生することができます。

■DLNA

DLNA CERTIFIED™ Audio Player
DLNA およびDLNA CERTIFIED™ はDigital Living Network Allianceの商標です。

ホームメディアギャラリーをお楽しみ頂くためのステップ

■ ネットワーク上の音楽ファイルや
インターネットラジオを再生する場合

Step1　ネットワークの接続と設定
(ネットワークセットアップガイドを参照)
⇩
Step2　「ネットワークオーディオを聞く」
(→30ページ)
「インターネットラジオを聞く」
(→33ページ)

■ USBメモリーを再生する場合

Step1　「USBメモリーを接続する」
(→29ページ)
⇩
Step2　「USBメモリーを再生する」
(→35ページ)

■ iPodを再生する場合

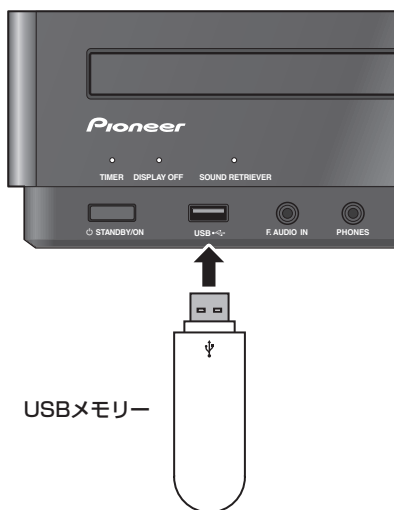
Step1　「iPodを接続する」
(→29ページ)
⇩
Step2　「iPodを再生する」
(→36ページ)

接続する

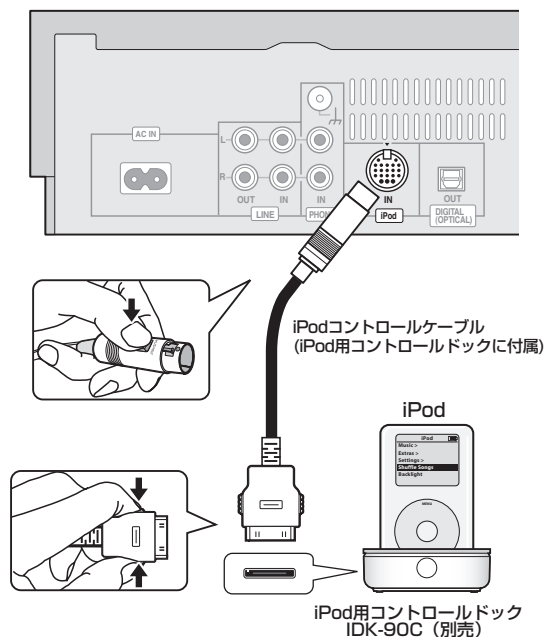
LAN 端子でネットワークに接続する

ネットワークオーディオやインターネットラジオを聞く場合は、LANケーブルを使用して本機をネットワークに接続します。ネットワークの設定が必要になる場合があります。詳しくはネットワークセットアップガイドをご覧ください。

USB メモリーを接続する

お手持ちのUSBメモリーを本機に接続することで、USBメモリーに記録されている音楽ファイルを本機で再生することができます。

- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続して音楽ファイルを再生することはできません。本機が対応しているUSBメモリーは、外付ハードディスクや携帯フラッシュメモリー、デジタルオーディオ再生機（FAT16、FAT32 のフォーマットに対応）などの USB マスストレージクラスに属する機器です。
- 本機は USB ハブには対応していません。
- 本機ではすべてのUSB メモリーの再生、および電源の供給を保証できない場合があります。また、本機と接続したことで、万一 USB メモリーのファイルが損失した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

iPod を接続する

iPodの接続には、別売りのiPod用コントロールドックIDK-90Cを使用します。iPod用コントロールドックに付属のiPodコントロールケーブルで、本機背面のiPod端子に接続してください。

- 本機は、第四世代以降の iPod および iPod mini、iPod nano、iPod Photo に対応しています。
- iPodの機能については、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPod の機種によっては動作しない機能があります。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては本機で操作できないことがあります。最新のバージョンのソフトウェアでご使用ください。
- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- パイオニア製品からiPodのイコライザを操作することはできません。本機に iPod を接続する前に、iPod のイコライザを「オフ」に設定することをお勧めします。
- 本機と iPod を組み合わせてご使用の際、万一 iPod のデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

ネットワークオーディオを聞く

本機では下記の機器に保存されているネットワーク上の音楽ファイルを再生できます。

- OS が Microsoft Windows XP Service Pack 2 で、Windows Media Connect がインストールされているパソコン
- OS が Microsoft Windows Vista または Windows XP Service Pack 2 で、Windows Media Player 11 がインストールされているパソコン
- DLNA に対応しているデジタルメディアサーバー（パソコンなど）

ネットワーク上の機器に保存されている音楽ファイルやインターネットラジオを再生するには、ルーターの**DHCPサーバー機能がONになっている**必要があります。
DHCPサーバー機能がないルーターの場合は、ネットワークの設定を行わなければネットワーク上の音楽ファイルやインターネットラジオの再生ができません。詳しくは、ネットワークセットアップガイドの「ネットワークの設定を行う」をご確認ください。

☑ メモ

- 本機は下記の技術を使ってネットワーク上の機器に保存されている音楽ファイルを再生します。各技術の詳細については「用語解説」(51ページ)もあわせてご覧ください。
  ー Windows media Player 11、Windows Media Connect
  ー Windows Media DRM
  ー DLNA
- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 映像ファイルは再生できません。
- 接続している機器の種類やソフトウェアのバージョンによって働かない機能があります。
- 対応しているファイルの形式は接続している機器によって異なります。接続している機器が対応していない形式のファイルは表示されません。詳しくはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 接続している機器の性能や状態によって再生が停止したり、正しく再生できないことがあります。
- ネットワークの通信が混雑していると、ファイルが表示されない、または再生できないことがあります。ネットワーク上の機器と接続するときは100BASE-TXのご利用をお勧めします。
- ネットワーク上の複数の機器が同じファイルを同時に再生すると、再生が停止することがあります。
- 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされていると、ネットワークに接続できないことがあります。
- 当社は本機とネットワーク上で接続している機器の不具合や、ファイルまたはデータの破損などに関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。接続している機器のメーカー、またはプロバイダーにお問い合わせください。
- Windows のネットワーク環境で、ドメインが構成されている場合、ドメインにログオンしているとパソコンに接続できません。ドメインではなくローカルマシンにログオンしてください。
- 可変ビットレート（VBR）で圧縮されたファイルも再生できますが、経過時間が正しく表示されない場合があります。

接続しているサーバーに本機を認証させる

ホームメディアギャラリーを使ってサーバーに保存されているファイルを再生するには、あらかじめサーバーが本機を認証（許可）している必要があります。認証（許可）方法は接続しているサーバーによって異なります。詳しくはサーバーの取扱説明書をご覧ください。

1. HOME MEDIA GALLERY

HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります（ネットワークに接続するため、多少時間がかかることがあります）。

2.

⇧⇩ボタンで接続しているサーバーを選んで、⇨ボタンを押す

サーバーの名前は、接続している機器によって異なります。

3.

フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧⇩ボタンでフォルダーを選んで、⇨ボタンを押す

北の国まで
東北名曲集
雪国の夏
2
18

4. **再生したい音楽ファイルを選ぶ**

再生できるのは♫マークがついている音楽ファイルです。

5. 決定

決定ボタンを押す

再生が開始されます。

Network 1'31"
帰ってよいよ
▶ アーティスト1

☑ **メモ**

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。音楽ファイルによっては数秒表示されることがあります。
- フォルダー内のすべての曲を再生すると、再生を停止します。
- 再生中に他の曲やフォルダーを選択するときは、⇦ボタンを押してから上記の手順3～5を操作してください。（再生中の曲の表示に戻るときは、**表示切換**ボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（インターネットラジオやUSBメモリー、iPod）の曲を選択するときは、**トップメニュー**ボタンを押してください。（再生中の曲は停止します。）

基本再生

- **再生する**

  再生を開始し、表示部に経過時間と曲名やアーティスト名などが表示されます。

  ● 再生中の表示内容を切り換えることができます。（37ページ）

- **再生を一時停止する**

  再生を再開するには▶ボタンを押します。

- **再生を停止する**

  再生を停止し、選曲メニューに戻ります。

頭出し（スキップ）

- **再生中に▶▶|ボタン（または|◀◀ボタン）を押す**

☑ **メモ**

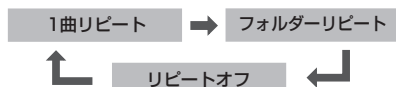
- 早送り/早戻し再生はできません。

繰り返し再生（リピート）

再生している曲だけを繰り返す1曲リピートと、フォルダー内の全曲を繰り返すフォルダーリピートがあります。

● リピート

再生中にリピートボタンを押す

リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。

1曲リピートにすると「⟲」が、
フォルダーリピートにすると「⟲」が点灯します。

順不同に再生する（ランダム）

フォルダー内のすべての曲から順不同に選んで再生します。

● ランダム

再生中にランダムボタンを押す

ランダム再生を開始します。表示部に「RDM」が点灯します。

☑ **メモ**

- **ランダム**ボタンをもう一度押して解除するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生中に ▶▶I ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、I◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。
- ランダム再生しているときに曲を選択しても、選んだ曲は再生されません。このときはランダム再生を解除してください。

お気に入りに登録する

好きな曲をお気に入りに登録させることができます。
登録した曲を聞くには、トップメニューでFavoritesを選んで再生します。

● プログラム

曲の再生または停止中にプログラムボタンを押す

曲がお気に入りに登録されます。

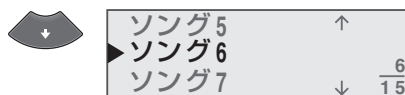
```
Favorite added
```

☑ **メモ**

- お気に入りは、インターネットラジオと合わせて20まで登録することができます。

お気に入りの曲を削除する

聞かなくなった曲などをお気に入りから削除します。
削除の操作は、トップメニューでFavoritesを選んで曲の選択画面で行います。

1. **Favoritesの曲の選択画面で、削除したい曲を選ぶ**

2. **クリアボタンを押す**

曲がお気に入りから削除されます。

```
Favorite removed
```

インターネットラジオを聞く

1. HOME MEDIA GALLERY

HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります。

2.

⇧ ⇩ ボタンでInternet Radioを選んで、⇨ ボタンを押す

iPod ↑
Internet Rad → 3/6
WMP11 ↓

3.

フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧ ⇩ ボタンでフォルダーを選んで、⇨ ボタンを押す

Europe ↑
American → 2/12
Doutonbori ↓

4.

再生したい放送局を選ぶ

再生できるのは♫マークがついている放送局です。

5. 決定

決定ボタンを押す

再生が開始されます。

Internet Radio 2'26"
Night Rider
▶ Michael

- 表示部に「RDM」が点灯している場合は、**ランダム**ボタンを押して消灯させてください。また、「⟲」や「⟲」が点灯している場合は、**リピート**ボタンを繰り返し押してこれらを消灯させてください。

☑ メモ

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。放送局によっては数秒表示されることがあります。
- 再生を停止するには、■（停止）ボタンを押します。
- 再生中に他の放送局やフォルダーを選択するときは、⇦ボタンを押してから左記の手順3～5を操作してください。（再生中の放送局の表示に戻るときは、**表示切換**ボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（ネットワークオーディオやUSBメモリー、iPod）の曲を選択するときは、**トップメニュー**ボタンを押してください。（再生は停止します。）

お気に入りに登録する

好きな放送局をお気に入りに登録させることができます。登録した放送局を聞くには、トップメニューでFavoritesを選んで再生します。

● プログラム

放送局の再生中、または選局画面（左記手順4）で放送局を選んで、プログラムボタンを押す

放送局がお気に入りに登録されます。

Favorite added

☑ メモ

- お気に入りは、ネットワークオーディオと合わせて20まで登録することができます。

お気に入りの放送局を削除する

聞かなくなった放送局などをお気に入りから削除します。削除の操作は、トップメニューでFavoritesを選んで、放送局の選択画面で行います。

1.

Favoritesの放送局の選択画面で、削除したい放送局を選ぶ

2. クリア

クリアボタンを押す

放送局がお気に入りから削除されます。

Favorite removed

放送局を記憶させる

本機にインターネットラジオの放送局を記憶させて、あとから簡単に呼び出すことができます。放送局は、A、B、Cの3つのクラスに各10局、合計30局までステーション（記憶番号）に記憶させることができます。

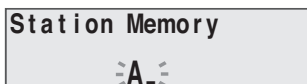
1. 記憶させたい放送局を再生する

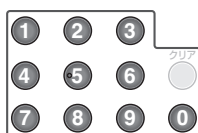
再生する手順は、「インターネットラジオを聞く」(33ページ)を参照してください。

2. T.EDITボタンを押す

T.EDIT

放送局の記憶モードになります。

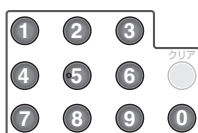
```
Station Memory
      A_
```

3. クラスボタンで記憶させるクラスを、⇦ ⇨ (ST+/−)ボタンまたは数字ボタンでステーション番号（0～9）を選んで、決定ボタンを押す

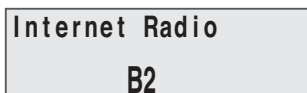
クラス

- 途中でやめるときは、もう一度 T.EDITボタンを押してください。

記憶させた放送局を呼び出す

各ステーション（記憶番号）に記憶させたインターネットラジオの放送局を聞くことができます。

● クラスボタンと数字ボタンでステーション番号を入力する

クラス

入力すると、約2秒後に選択した放送局に切り換わります。

```
Internet Radio
      B2
```

- 記憶されていないステーションを選択すると、「Preset Not Stored」と表示されます。

インターネットラジオの再生について

■インターネットラジオについて

インターネットラジオとは、インターネットを通じて配信しているラジオのことです。インターネットラジオの放送局には個人が運営するものから地上波の放送局が運営するものまで、さまざまな放送局が世界中に多数存在しています。地上波のラジオは電波の届く範囲でのみ放送を聞くことができますが、インターネットラジオではインターネットを通じて世界中の放送を聞くことができます。本機ではジャンル別、地域別に放送局を選択することができます。

■インターネットラジオ局について

本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner ）を利用しています。
このデータベースサービスは、本機用に編集・作成されたリストです。

■エラーメッセージについて

インターネットラジオの放送局によっては、放送していなかったり、本機で再生できないフォーマットの場合があります。表示部にエラーメッセージが表示された場合は、⇦ボタンを押して元の画面に戻ってください。詳しくは「こんな表示が出たときは」(57ページ)をご覧ください。

☑ メモ

- インターネットラジオを聞くときはインターネットをブロードバンドで接続してください。56Kモデム やISDNでは十分にお楽しみいただけないことがあります。
- インターネットラジオは放送局によってポート番号が異なりますので、ファイアウォールの設定をご確認ください。
- vTunerから提供されている放送局リストは予告なく停止される場合があります。
- 放送局リストで選択できる放送局でも、放送を中断または中止していて再生できないことがあります。

USBメモリーを再生する

1. HOME MEDIA GALLERY

HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります。

2. **⇧⇩ボタンでUSBを選んで、⇨ボタンを押す**

3. **フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧⇩ボタンでフォルダーを選んで、⇨ボタンを押す**

4. **再生したい音楽ファイルを選ぶ**

再生できるのは♫マークがついている音楽ファイルです。

♫渋谷でゴジラ
♫六本木順調派
♫箱根九里.wma
21
80

5. 決定

決定ボタンを押す

再生が開始されます。

USB 2'26"
六本木順調派
▶ アーティスト3

☑ メモ

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。音楽ファイルによっては数秒表示されることがあります。
- フォルダー内のすべての曲を再生すると、再生を停止します。
- 再生中に他の曲やフォルダーを選択するときは、⇦ボタンを押してから上記の手順3〜5を操作してください。（再生中の曲の表示に戻るときは、**表示切換**ボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（ネットワークオーディオやインターネットラジオ、iPod）の曲を選択するときは、**トップメニュー**ボタンを押してください。（再生中の曲は停止します。）

基本再生

- **再生する**

再生を開始し、表示部に経過時間と曲名やアーティスト名などが表示されます。

- 再生中の表示内容を切り換えることができます。（37 ページ）

- **再生を一時停止する**

再生を再開するには▶ボタンを押します。

- **再生を停止する**

再生を停止し、選曲メニューに戻ります。

頭出し（スキップ）

- **再生中に▶▶|ボタン（または|◀◀ボタン）を押す**

☑ メモ

- 早送り/早戻し再生はできません。

繰り返し再生（リピート）

再生している曲だけを繰り返す1曲リピートと、フォルダー内の全曲を繰り返すフォルダーリピートがあります。

- リピート

リピートボタンを押す

リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。

1曲リピートにすると「⟲1」が、フォルダーリピートにすると「⟲」が点灯します。

順不同に再生する（ランダム）

フォルダー内のすべての曲から順不同に選んで再生します。

● ランダム

再生中にランダムボタンを押す

ランダム再生を開始します。表示部に「RDM」が点灯します。

☑ **メモ**

- **ランダム**ボタンをもう一度押して解除するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生中に ▶▶|ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。
- ランダム再生しているときに曲を選択しても、選んだ曲は再生されません。このときはランダム再生を解除してください。

USB メモリーの再生について

35ページの手順3～4で選択できるフォルダー階層は最大8階層までです。1つのフォルダー内で最大2000までのフォルダーを表示、再生することができます。

☑ **メモ**

- 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- 著作権保護のかかったファイルは再生することができません。

iPodを再生する

1.

HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります。

2. **⇧ ⇩ ボタンでiPodを選んで、⇨ ボタンを押す**

3.

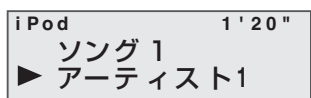
フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧ ⇩ ボタンでフォルダーを選んで、⇨ ボタンを押す

Playlists
Arists
Albums
2/7

4.

再生したい音楽ファイルを選ぶ

再生できるのは♫マークがついている音楽ファイルです。

♫亀甲おろし
♫瀬戸の花婿
♫長崎は昨日も
34/870

5. 決定

決定ボタンを押す

再生が開始されます。

☑ **メモ**

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。音楽ファイルによっては数秒表示されることがあります。
- 再生中に他の曲やフォルダーを選択するときは、⇦ボタンを押してから上記の手順3～5を操作してください。（再生中の曲の表示に戻るときは、**表示切換**ボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（ネットワークオーディオやインターネットラジオ、USBメモリー）の曲を選択するときは、**トップメニュー**ボタンを押してください。（再生中の曲は停止します。）
- 本機の表示は、iPod本体のメニュー構造とは異なります。

基本再生

● **再生する**

再生を開始し、表示部に経過時間と曲名やアーティスト名などが表示されます。

iPod 1'20"
ソング 1
▶ アーティスト1

● 再生中の表示内容を切り換えることができます。(37 ページ)

● **再生を一時停止する**

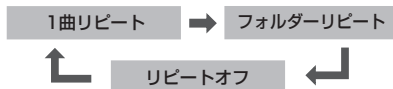
再生を再開するには▶ボタンを押します。

● **再生を停止する**

再生を停止し、選曲メニューに戻ります。

頭出し（スキップ）

●
再生中に ►►I ボタン (または I◄◄ ボタン) を押す

☑ **メモ**

- 早送り/早戻し再生はできません。

繰り返し再生（リピート）

再生している曲だけを繰り返す1曲リピートと、フォルダー内の全曲を繰り返すフォルダーリピートがあります。

●
リピートボタンを押す

リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。

1曲リピートにすると「1曲リピートアイコン」が、フォルダーリピートにすると「フォルダーリピートアイコン」が点灯します。

順不同に再生する（ランダム）

フォルダー内のすべての曲から順不同に選んで再生します。

● ランダム
再生中にランダムボタンを押す

ランダム再生を開始します。表示部に「ランダムアイコン」が点灯します。

☑ **メモ**

- **ランダム**ボタンをもう一度押して解除するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生中に ►►I ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、I◄◄ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。

再生情報を見る

ホームメディアギャラリーで再生中に表示内容を切り換えることができます。

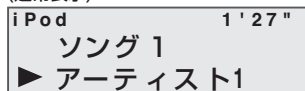
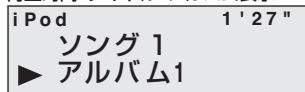
● 表示切換
再生中に表示切換ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように表示が切り換わります。

再生時間/タイトル/アーティスト表示
(通常表示)

⬍

再生時間/タイトル/アルバム表示

iPod 1'27"
ソング 1
▶ アルバム1

☑ **メモ**

- アルバム名が入っていないときは、表示の切り換えはできません。
- iPod以外では、アーティスト名が入っていないときはファイル名が表示されます。

再生できるフォーマットについて

ホームメディアギャラリー入力では以下のファイルフォーマットに対応しています。ただし、対応しているフォーマットでも再生できないことがあります。また、サーバーによってサポートされるフォーマットが異なりますので、お使いのサーバーもあわせてご確認ください。

種別	拡張子	ストリーム		
MP3	.mp3	● MPEG-1 オーディオレイヤー 3	サンプリング周波数	8 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	8 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
LPCM	-	● LPCM	サンプリング周波数	8 kHz～44.1 kHz
			量子化ビット数	16 bit、20 bit、24 bit
			チャンネル数	2 ch
WAV	.wav	● LPCM	サンプリング周波数	8 kHz～44.1 kHz
			量子化ビット数	16 bit、20 bit、24 bit
			チャンネル数	2 ch
WMA	.wma	● WMA2/7/8	サンプリング周波数	8 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	5 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
		● WMA9	サンプリング周波数	8 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	5 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
AAC	.m4a .aac .3gp .3g2	● MPEG-4 AAC LC ● MPEG-4 HE AAC (aacPlus v1/2)	サンプリング周波数	32 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	16 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
FLAC	.flac	● FLAC	サンプリング周波数	8 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
			量子化ビット数	8 bit、16 bit
			チャンネル数	2 ch （8 bit のモノラル音声には対応していません。）
			ビットレート	-
			VBR/CBR	非対応/対応

MPEG Layer-3音声復号化技術は、Fraunhofer IISおよびThomson multimediaからライセンスされています。

Windows Media DRM について

Windows Media デジタル著作権管理(DRM)(以下、WMDRM)は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。ホームメディアギャラリーのネットワークオーディオではWMDRM 10 for networked devicesにもとづいて機能します。WMDRM で保護されたコンテンツはWMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。
コンテンツ所有者は、著作権を含む知的所有権を保護するためにWindows Media デジタル著作権管理テクノロジ(WMDRM)を使用します。本製品は、WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスするためにWMDRM ソフトウェアを使用します。WMDRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツ所有者は保護されたコンテンツの再生やコピーのためにWMDRM を使用しているソフトウェアの能力を無効にするよう、マイクロソフトに要請することがあります。
無効化は、保護されていないコンテンツには影響を与えません。あなたが保護されたコンテンツに対するライセンスをダウンロードするとき、マイクロソフトがそのライセンスと一緒に失効リストを含ませることがあることに同意してください。コンテンツ所有者は、それらのコンテンツのアクセスに対してWMDRM をアップグレードすることを要求することがあります。もしアップグレードを断るなら、あなたはアップグレードを要求するコンテンツへアクセスすることができなくなります。
本製品は、米国Microsoft Corporation の知的所有権により保護されています。米国Microsoft Corporation の許可を得ずにこの技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

第７章：

外部機器を接続する

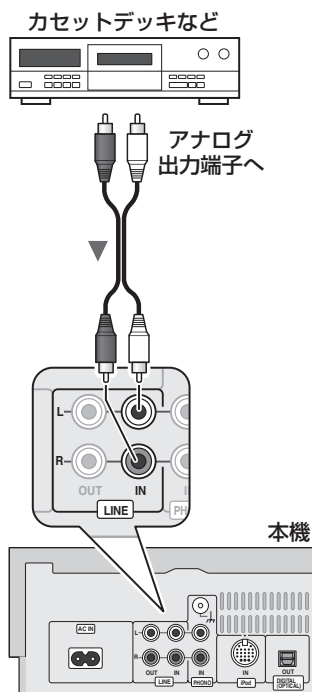
本機背面のLINE IN端子やPHONO端子、および前面のF.AUDIO IN端子を使用して、外部機器の音声を本機で聞くことができます。
また、LINE OUT端子またはDIGITAL(OPTICAL)OUT端子を使用して、本機で再生している音声を外部機器で録音することができます。

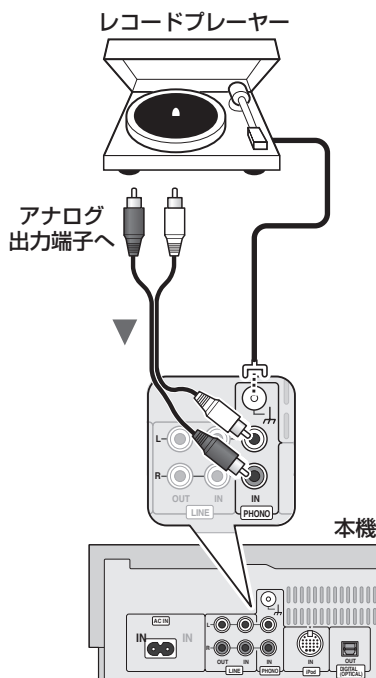
- iPodやUSBメモリーの音声を聞く場合は、「ホームメディアギャラリーを聞く」(28ページ)をご覧ください。
- 外部機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書もご覧ください。

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

他機器の音声を聞く

背面のLINE IN端子で接続する

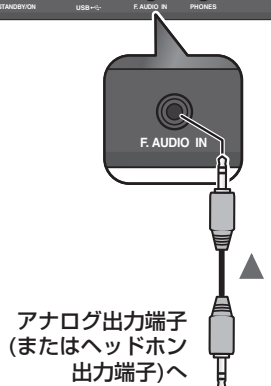
カセットデッキやMDプレーヤーなどのアナログ出力端子のある機器を接続して本機で聞くことができます。
本機のLINE IN端子と外部機器のアナログ出力端子を、市販のオーディオコードで接続します。

背面のPHONO端子にレコードプレーヤーを接続する

本機のPHONO IN端子とレコードプレーヤーの出力端子を、市販のオーディオコードで接続します。
レコードプレーヤーにアース端子が付いている場合は、必ず⏚端子に接続してください。

☑ 注意

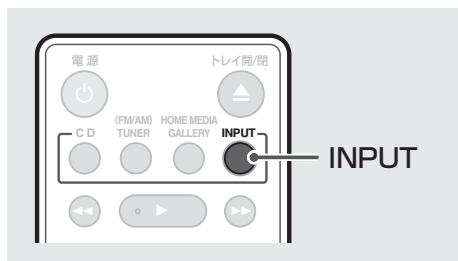
- レコードプレーヤーはMM型カートリッジタイプをご使用ください。
- PHONO端子にレコードプレーヤー以外の機器またはイコライザー内蔵レコードプレーヤーを接続しないでください。大音量を出力し、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
- イコライザー内蔵レコードプレーヤーを本機に接続する場合は、LINE IN端子に接続してください。

前面の FRONT AUDIO IN 端子で接続する

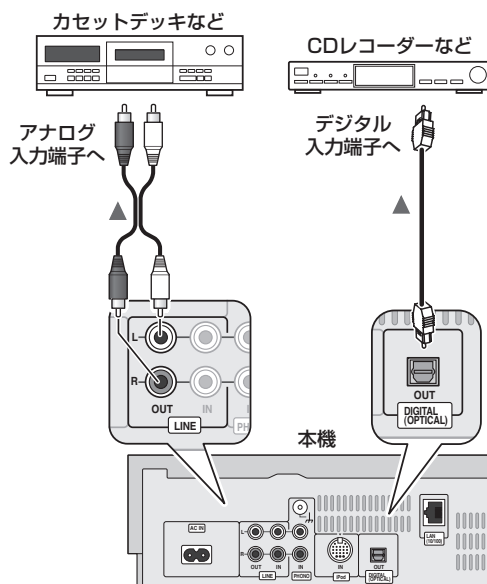
デジタルオーディオプレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの音声を本機で聞くことができます。
本機前面のF.AUDIO IN端子と接続機器のアナログ出力端子（またはヘッドホン出力端子）を、市販のステレオミニプラグ付きケーブルで接続します。

- ケーブルを接続すると、自動的に本機の入力がFRONT AUDIO INに切り換わります。（目覚ましタイマーで電源オンしている場合は除きます。）

☑ メモ

- 外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器の音量調節によって本機のスピーカーから聞こえる音量が変わります。本機のボリュームを下げても音が歪む場合は、外部機器の音量を調節してください。

外部機器の音声を本機で聞くには

- INPUT **INPUT ボタンを繰り返し押して、聞きたい入力を選ぶ**
  押すたびにLINE、PHONO、FRONT AUDIO INが切り換わります。

本機の音声を外部機器で録音する

カセットデッキやCDレコーダーなどのアナログ入力端子がある外部録音機器を市販のオーディオコードで接続して、本機で再生している音声を録音することができます。
外部録音機器に光入力端子がある場合は、市販の光デジタルケーブルを使用して本機とデジタル接続することもできます。

☑ 注意

- DIGITAL(OPTICAL)OUT 端子からは CD 以外のデジタル音声は出力されません。
- LINE OUT端子およびDIGITAL(OPTICAL)OUT端子から出力される音声には、音質の設定(42ページ)は反映されません。

第８章：
音質の設定

サウンドモードの切り換え

サウンドに効果を加えて、音楽を楽しむことができます。

- サウンド　**音楽を再生中にサウンドボタンを押す**

ボタンを押すたびに以下のように設定が変わります。

VIVID（ビビッド）:
メリハリのある生き生きとしたサウンド設定です。
EXCITING（エキサイティング）:
刺激的で臨場感のあるサウンド設定です。
RELAXING（リラックス）:
穏やかでリラックスできるサウンド設定です。
Off（オフ）:
元のサウンドをそのまま再生します。

☑ **メモ**

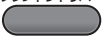
- SACD を再生しているときは、サウンドモードを切り換えることはできません。
- サウンドモードをオフ以外にすると、サウンドレトリバー機能とデジタルノイズリダクション機能はオフになります。
- サウンドモードの設定は入力（ファンクション）ごとに記憶されます。

低音/高音の音質調整

低音(Bass)と高音(Treble)の音質をお好みで調整することができます。

-

高音＋/ーボタンまたは低音＋/ーボタンでレベルを調整する

高音、低音とも+6〜–6の範囲で調整できます。

小さな音でも聞き取りやすくする（ラウドネス）

再生している音量に合わせて低域･高域のレベルを自動的に調整して、小さな音でも音楽を聞き取りやすくします。

- ラウドネス **ラウドネスボタンを押す**

押すたびにオンとオフが切り換わります。

圧縮音声を高音質化する（サウンドレトリバー）

WMA、MP3、MPEG-4 AACなどの圧縮音声を再生するときに効果的です。圧縮音声は圧縮処理される際、人が感じ取りにくい部分の音声が削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除されてしまった部分の音声をDSP処理によって補い、音の密度感、抑揚感を向上させて再生します。

● サウンドレトリバー **サウンドレトリバーボタンを押す**

押すたびにオンとオフが切り換わります。オンの時は本体のSOUND RETRIEVERインジケーターが点灯します。

☑ **メモ**

- SACDを再生しているときは、サウンドレトリバー機能を切り換えることはできません。
- サウンドレトリバー機能をオンにすると、サウンドモードとデジタルノイズリダクション機能はオフになります。
- サウンドレトリバー機能の設定は、入力（ファンクション）ごとに記憶されます。
- お買い上げ時の設定は、ホームメディアギャラリーおよびFRONT AUDIO INの時はサウンドレトリバー機能がオンになっています。

デジタルノイズリダクション

外部入力機器やラジオのノイズを低減します。

● **デジタルNRボタンを押す**

押すたびにオンとオフが切り換わります。

☑ **メモ**

- PHONO、LINE、TUNER以外の入力（ファンクション）ではデジタルノイズリダクション機能を切り換えることはできません。
- デジタルノイズリダクション機能をオンにすると、サウンドモードとサウンドレトリバー機能はオフになります。
- デジタルノイズリダクション機能の設定は、入力（ファンクション）ごとに記憶されます。

音質設定の確認

さまざまな音質設定の状態を確認することができます。

● 状態確認 **状態確認ボタンを押す**

設定の状態が表示されます。

```
     Sound . . . V I V I D
      Bass . . . + 2
    Treble . . . + 2
  Loudness . . . On
S.Retriever . . . Of f
 Digital NR . . . Of f
```

もう一度**状態確認**ボタンを押すか、しばらく待つと元の画面に戻ります。

第９章：
タイマー機能を使う

時計を合わせる

時計を合わせていないと、タイマーの設定や動作を行うことができません。
時計表示は12時間表示と24時間表示を切り換えることができます。(49ページ)

例）月曜日の午後6時54分に合わせる場合

1. タイマー/時計

タイマー /時計ボタンを押す

現在の曜日と時刻が表示されます。

Monday 6:51 PM

はじめて時計を合わせる場合は以下の画面になります。"Clock Adjust"が選択されいることを確認して、**決定**ボタンを押して手順4に進んでください。

Timer Setup
⊙Clock Adjust

2. タイマー/時計

もう一度タイマー /時計ボタンを押す

タイマーセットアップ画面になります。

3.

⇧ ⇩ ボタンで "Clock Adjust"を選んで、決定ボタンを押す

Timer Setup
•Wake-up ↑
⊙Clock Adjust ↓

4.

⇧ ⇩ ボタンで「曜日」を合わせて、決定ボタンを押す

例の場合は、"Monday"にします。

Clock Adjust
Monday 0:00 AM

5.

⇧ ⇩ ボタンで「時」を合わせて、決定ボタンを押す

例の場合は、"6 PM"にします。

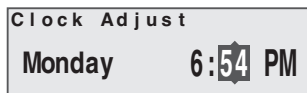
Clock Adjust
Monday 6:00 PM

☑ **メモ**

- 時計を確認するには、**タイマー /時計**ボタンを押します。表示部に5秒間表示されたあと、元の表示に戻ります。時計を合わせていない場合は、時計の確認はできません。
- 停電したり、電源コードを抜くと、時計合わせが無効になります。再度時計合わせを行ってください。

6. **⇧⇩ボタンで「分」を合わせて、決定ボタンを押す**

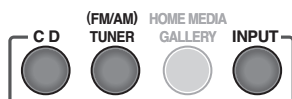
例の場合は、"54"にします。

Clock Adjust
Monday 6:54 PM

「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

目覚ましタイマー

指定した曜日の同じ時刻に再生を開始/終了させることができます。たとえば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）月曜日と木曜日の午前7時40分に再生を開始し、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットする

1. **再生したい入力(ファンクション)に切り換えて、再生の準備をする**

CD：
CDをトレイにセットしておきます。

TUNER：
聞きたい放送局を選んでおきます。

INPUT：
LINEを選択し、LINE端子に接続した機器の準備をしておきます。

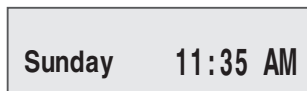
- ホームメディアギャラリー、PHONO、FRONT AUDIO INでは目覚ましタイマーは使用できません。

2. **音量を調整する**

調整した音量で再生します。

3. **タイマー/時計ボタンを押す**

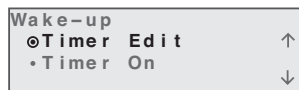
現在の曜日と時刻が表示されます。

Sunday 11:35 AM

4. **もう一度タイマー/時計ボタンを押す**

タイマーセットアップ画面になります。

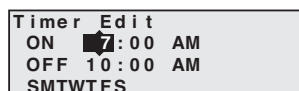
5. **⇧⇩ボタンで"Wake-up"を選んで、決定ボタンを押す**

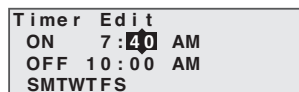
Timer Setup
⊙Wake-up
•Clock Adjust

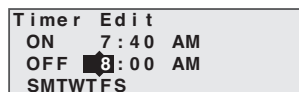
6. **⇧⇩ボタンで"Timer Edit"を選んで、決定ボタンを押す**

タイマー編集画面になります。

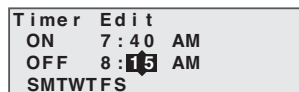
7. **⇧⇩ボタンで開始時刻の「時」を合わせて、⇨ボタンを押す**

決定ボタンを押すと、タイマー編集画面を終了し、手順12へ進みます。（手順8〜11も同様です。）

Timer Edit
ON 7:00 AM
OFF 10:00 AM
SMTWTFS

8. **⇧⇩ボタンで開始時刻の「分」を合わせて、⇨ボタンを押す**

Timer Edit
ON 7:40 AM
OFF 10:00 AM
SMTWTFS

9. **⇧⇩ボタンで終了時刻の「時」を合わせて、⇨ボタンを押す**

Timer Edit
ON 7:40 AM
OFF 8:00 AM
SMTWTFS

10. **⇧⇩ボタンで終了時刻の「分」を合わせて、⇨ボタンを押す**

Timer Edit
ON 7:40 AM
OFF 8:15 AM
SMTWTFS

11. ⇦ ⇨ ボタンで「曜日」を合わせて、⇧ ⇩ ボタンで設定する/しないを選ぶ

設定しない曜日は「＊」で表示されます。

```
Timer Edit
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**  Saturday
```

12. 決定 決定ボタンを押す

設定内容の確認画面が表示されます。

```
Timer Edit
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**    OK?
```

13. 決定 もう一度決定ボタンを押す

設定が確定し、設定内容が表示されます。

```
Timer Check
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**
```

↓

```
Timer Check
 FM  79.50MHz
 Volume 12
```

本体の緑色の TIMERインジケーターが点灯します。

14. 電源 ⏻ 電源ボタンを押して、電源をスタンバイにする

開始時刻になると、自動的に電源がオンになり、再生が始まります。再生中は緑色の TIMERインジケーターが点滅します。

☑ 注意

- 停電したり電源コードを抜くと、時計の設定が消えてしまいます。このときタイマーの設定も解除されるので、時計を合わせてから再度タイマーを設定し直してください。
- 開始時刻と終了時刻を同じには設定できません。

☑ メモ

- 再生する入力 (ファンクション) や音量などの設定は、設定したすべての曜日で共通となります。

目覚ましタイマーを確認する

本機の電源がスタンバイのときでも目覚ましタイマーの設定内容を確認できます。

● タイマー/時計 電源がスタンバイのときに、タイマー/時計ボタンを押す

タイマーの設定内容が表示されます。

```
Timer Check
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**
```

↓

```
Timer Check
 FM  79.50MHz
 Volume 12
```

表示された後は、再び電源はスタンバイになります。

目覚ましタイマーをオン / オフする

目覚ましタイマーの設定は本機に記憶されます。目覚ましタイマーを再びオンにすると、前に設定した内容でタイマー動作をします。

1. 電源

⏻ 電源ボタンを押して、電源をオンにする

2. タイマー/時計

タイマー /時計ボタンを押す

現在の曜日と時刻が表示されます。

```
Sunday    11:35 AM
```

3. タイマー/時計

もう一度タイマー /時計ボタンを押す

タイマーセットアップ画面になります。

4. 決定

⇧ ⇩ ボタンで "Wake-up"を選んで、決定ボタンを押す

```
Timer Setup
 ⊙Wake-up          ↑
 •Clock Adjust     ↓
```

5. 決定

タイマーをオフにする場合：
⇧ ⇩ ボタンで"Timer Off"を選んで、決定ボタンを押す

タイマーがオフになり、本体の緑色のTIMERインジケーターが消灯します。

タイマーをオンにする場合：
⇧ ⇩ ボタンで"Timer On"を選んで、決定ボタンを押す

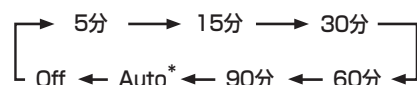
タイマーがセットされ、タイマー確認画面になります。
本体の緑色のTIMER インジケーターが点灯します。

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利な機能です。

● スリープ

スリープボタンを押してタイマー時間を設定する

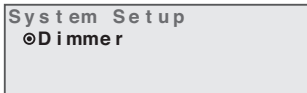
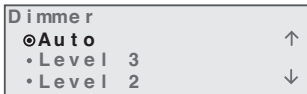
ボタンを押すたびに以下のようにタイマー時間が変わります。

＊スリープオート（Sleep Auto）
再生が終了して本機が停止してから約１分後に自動的に電源がオフになります。
(SACD およびCDを再生中のみ選択可能です。)
スリープタイマーを設定するとオレンジ色のTIMERインジケーターが点灯します。

☑ メモ

- スリープタイマー設定後に**スリープ**ボタンを押すと、残り時間が確認できます。
- スリープタイマーを設定すると、表示部が暗くなります。
- 目覚ましタイマーで電源オンしているときは、スリープタイマーは使えません。
- リピート再生している CD や SACD などでは、スリープオートの設定はできません。

第10章：
各種設定

表示部を消灯する

表示部の各種表示をすべて消すことができます。

- 表示オフ
表示オフボタンを押す
表示が消灯し、DISPLAY OFFインジケーターが点灯します。
もう一度**表示オフ**ボタンを押すと、DISPLAY OFF インジケーターが消灯し、表示が元に戻ります。

☑ **メモ**

- 表示がオフの場合でも、本機を操作したときは一時的に表示します。

表示部の明るさを変える

お好みに応じて、表示部の明るさを3段階に変えることができます。また、"Auto"に設定すると、本機を操作したときだけ明るく表示します。

1. 設定 **設定ボタンを押す**

システムセットアップ画面になります。

2. 決定 **"Dimmer" が選択されているのを確認して、決定ボタンを押す**

3. **⇧⇩ボタンで明るさを選んで、決定ボタンを押す**

☑ **メモ**

- スリープタイマーが設定されているときは、ここでの設定にかかわらず、表示部の明るさはLevel1になります。

表示反転機能をオフにする

表示反転機能は、何も操作をしなかったときに、表示が約3分間隔で自動的に反転する機能です。
お買い上げ時はオンに設定されていますが、表示反転機能をオフにして、反転させないようにすることができます。

1. 電源 **⏻ 電源ボタンを押して電源をスタンバイにする**

2. 設定 **設定ボタンを押す**

システムセットアップ画面になります。

3. **⇧ ⇩ ボタンで"Reverse Display"を選んで、決定ボタンを押す**

4. **⇧⇩ボタンで"Mode Off"を選ぶ**

再び反転表示をさせる場合は"Mode On"にします。

5. 決定 **決定ボタンを押す**

電源がスタンバイになります。

時計の表示モードを変える

時計の表示を、12時間表示と24時間表示で切り換えることができます。

1. ⏻ 電源ボタンを押して電源をスタンバイにする

2. 設定ボタンを押す

システムセットアップ画面になります。

3. ⇧ ⇩ ボタンで"Hour Display"を選んで、決定ボタンを押す

System Setup
⊙Hour Display
•Reverse Display
•Volume Step

4. ⇧ ⇩ ボタンで"12H"または"24H"を選ぶ

5. 決定ボタンを押す

電源がスタンバイになります。

ボリュームの設定を変える

最小音量から最大音量までのボリュームの変化ステップ量を、50ステップと80ステップで切り換えることができます。

1. ⏻ 電源ボタンを押して電源をスタンバイにする

2. 設定ボタンを押す

システムセットアップ画面になります。

3. ⇧ ⇩ ボタンで"Volume Step"を選んで、決定ボタンを押す

4. ⇧ ⇩ ボタンで"80 Step"または"50 Step"を選ぶ

5. 決定ボタンを押す

電源がスタンバイになります。

☑ **メモ**

- 設定を変更すると、ボリューム値は"0"にリセットされます。

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻す

1. 電源をオンにする

2. 本体の FUNCTION ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ON ボタンを3 秒間押し続ける

電源がスタンバイになります。

3. もう一度電源をオンにする

初期化され、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

☑ **注意**

- 初期化すると、記憶していたすべての設定内容が消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。

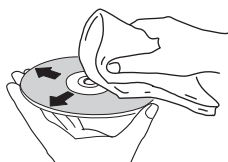
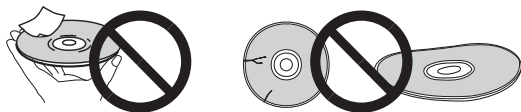
第１１章：
その他

ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付属の注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れをつけないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びなどが発生することがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」(60ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

用語解説

全般

■光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

■マルチセッション
CD-R やCD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

■DRM コピープロテクト
DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。
詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

■Dual Disc
Dual Discは、片面にDVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。

■LPCM
Linear Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない2 チャンネルステレオデジタル音声です。
CD のデジタル音声はほとんどがこの方式です。

■MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー 3という圧縮方法で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドとアルファベットで構成されています。

■SACD
CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACD には1 層ディスク、2 層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ち合わせています。

ホームメディアギャラリー

■イーサネット(Ethernet)
同じ場所にある複数のパソコンなどを接続してローカルエリアネットワーク(LAN)を構築するときに使われる規格です。現在は、100BASE-TXと呼ばれる方式が最も普及しています(10BASE-Tと呼ばれる方式もあります)。通常はLANケーブルとハブを使って複数のパソコンを接続します。

■サブネットマスク
IPアドレスの何ビット分をネットワークグループの識別のために使うかを定義する32ビットの数値です。
「255.255.255.0 」のように表示されます。

■デフォルトゲートウェイ
ネットワーク外(インターネットなど)の機器にアクセスするとき「出入り口」になるルータなどの機器です。

■AAC
Advanced Audio Codingの略で、MPEG-2およびMPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

■DHCP
Dynamic Host Configuration Protocolの略です。
ネットワークに関する設定(IPアドレスの取得など)を自動で行う機能です。

■DLNA
Digital Living Network Alliance (デジタル·リビング·ネットワーク・アライアンス)の略です。ローカルエリアネットワーク(LAN) 上で接続したメーカーの異なるパソコンやデジタル家電の動画、音楽、または画像データなどを相互で視聴できるようにするためのデータの圧縮方式や転送方式の標準化を進めている団体の名称です。本機はDLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.0 に準じています。

■DNS
「ドメインネームシステム」の略で、ホームページの閲覧時に使用する「www.jp 」のようなドメイン名を、実際の通信に使用するIP アドレス(「202.221.192.106」など)に置き換える仕組みのことです。

■FLAC
Free Lossless Audio Codecの略です。可逆圧縮方式であるため、MP3やAACなどの圧縮音声とは違いFLACは音質を劣化させることなく圧縮します。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

FLAC ウェブサイト: http://flac.sourceforge.net

■IP アドレス
インターネットなどのIP(インターネットプロトコル)ネットワークに接続されたパソコンに割り振られた識別番号です。通常は「192.168.130.106」のように、0から255 までの数字を4 つ並べて表示します。

■LAN
Local Area Networkの略です。同じ建物の中にあるパソコンやプリンタなどを専用ケーブルで接続してデータを送受信するネットワークです。最も普及している規格はイーサネット(Ethernet)規格で、通信速度が10 Mbps、最大伝送距離が100 mの10BASE-Tやその10倍の通信速度を実現できる100BASE-TXが主流です。

■MAC アドレス
イーサネットカードに付与される固有のI D 番号です。これを元にカード間でデータが送受信されます。IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers＝電気電子学会)が割り当てる番号と各メーカーが独自に割り当てる番号の組み合わせによって表示されます。

■Windows Media
Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

■Windows Media DRM
Windows Mediaデジタル著作権管理(DRM)は、パソコン、デジタルオーディオプレーヤー、またはネットワーク機器などで再生するファイルを保護して、安全に配信できる技術です。WMDRMで保護されているファイルはWMDRM に対応している機器でのみ再生できます。

■Windows Media Player 11
Windows Media Connect
Windows Media Player 11とWindows Media Connect は、パソコンに保存されている動画、音楽、または画像ファイルなどをネットワーク上で共有するソフトウェアです。現在Windows Media Connect はマイクロソフト社のウェブサイトでダウンロードできません。Windows Media Connect がお使いの機器にインストールされていないときは、同じ機能が使えるWindows Media Player 11 for Windows XP をインストールしてください(マイクロソフトウェブサイトからダウンロードできます)。詳しくはマイクロソフトウェブサイトをご覧ください。

■vTuner
インターネットラジオのオンラインコンテンツサービスです。

本製品は、NEMS および BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、NEMS および BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器などもあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因/対策	参照ページ
全般		
音が出ない。	● 電源コードが外れていませんか？電源コードを正しく接続してください。	15ページ
	● すべてのコードが完全に接続されていますか？ 正しく接続してください。	11～15ページ
	● スピーカーコードがショート（接触）していませんか？スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。	11ページ
	● ミューティング状態になっていませんか？リモコンの消音ボタンを押して、ミューティングを解除してください。	19ページ
	● 音量がゼロになっていませんか？音量を調整してください。	19ページ
	● ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。	50ページ
	● ヘッドホンが挿入されていませんか ？ヘッドホンを抜いてください。	17ページ
スピーカーからノイズが出る。	● 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが出ることがあります。本機から離れてご使用ください。	
設定した内容が消えてしまった。	● 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず ⏻ STANDBY/ON ボタンを押して、表示窓の "Power Off" 表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。 電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
タイマーが設定できない、作動しない。	● 現在時刻の設定がされていますか？現在時刻を設定してください。	44ページ
接続した外部機器から音が出ない。	● 本機の音声出力端子または接続した機器の音声入力端子に、音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？	41ページ
	● オーディオコード (赤/白) のプラグや本機の音声出力端子、または接続した機器の音声入力端子が汚れていたら拭いてください。	
	● 接続した機器の音量が最小になっていませんか？	
リモコンが効かない。	● リモコンの電池がなくなっていませんか？新しい電池にかえてください。	9、19ページ
	● 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。	
	● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにありませんか？蛍光灯をリモコン受光部から離してください。	
	● リモコンは、リモコン受光部から 7 m 以内、左右 30° 以内で本機に向けて操作してください。	
	● リモコンとリモコン受光部の間に信号をさえぎる障害物がありませんか？障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。	
テレビなどが誤動作する。	● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	

症状	原因/対策	参照ページ
電源が入らない、または電源が突然オフになった。(緑色の TIMER インジケーターが点滅して、再び電源を入れたときにエラーメッセージが表示される場合があります。)	● 電源コードを抜かずに、1 分後に再び ⏻ **STANDBY/ON** ボタンを押して電源を入れてみてください。 ● スピーカーコードがショート(接触)していませんか?スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 ● 本体の周りに十分なスペースが空いていますか?風通しが良くなるように設置を変えてみてください。 ● 音量を下げて使用してみてください。 上記を行っても症状が改善されないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	11ページ 19ページ
SACD/CD		
SACD とCD で音量差を感じる。	● ディスクの記録方式の違いにより、音量に差があります。	
デジタル音声が出力されない。	● CD 以外の音声は **DIGITAL(OPTICAL)OUT** 端子から出力できません。アナログ出力端子に接続してください。	
ディスクトレイを閉めても出てきたり、再生ができない。	● ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 ● ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか?ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。	50ページ 20ページ 20ページ
日本語のファイル名が表示されない。	● ディスクは Joliet フォーマットで記録されていますか?詳しくは「再生できるディスクについて」をご覧ください。	23ページ
CD-R/RW ディスクが認識されない。	● ディスクは ISO9660 フォーマットに準拠していますか?詳しくは「再生できるディスクについて」をご覧ください。	23ページ
ラジオ		
FM/AM ラジオ放送が聞こえない、聞こえにくい。	● アンテナが接続されていますか?アンテナを正しく接続してください。 ● アンテナの向き、位置が悪くなっていませんか?アンテナの向きや位置を調整してください。 ● 電気器具(蛍光灯、ドライヤーなど)を使用していませんか?雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	12ページ
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	● 表示部に「○」が点灯していませんか?FM 放送の受信設定を "**Auto**" にして、「○」を消灯してください。	25ページ

症状	原因/対策	参照ページ
ホームメディアギャラリー		
ネットワークに接続できない。	● LAN ケーブルが抜けていませんか？正しく接続してください。 ● ルーターの電源は入っていますか？電源を入れてください。 ● IPアドレスは正しく設定されていますか？ルーターのDHCP サーバー機能をオンにするか、ネットワーク環境に合わせて、「Network Setup 」を手動で設定してください。 ● IP アドレスの自動設定中は接続できません。自動設定が終わるまでしばらくお待ちください。 ● 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされていると、ネットワークに接続できないことがあります。	**ネットワークセットアップガイドを参照**
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。	● パソコンに Windows Media Player 11 をインストールしてください。 ● MP3 、WAV（LPCM のみ）、MPEG-4 AAC、FLAC、WMA で記録された音楽ファイルを再生してください（ただし、それらのファイルであっても本機で再生できないこともあります）。 ● Windows Media Player 11 または Windows Media Connect では MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生することはできません。対応している他のサーバーを使用してください。 ● ネットワークに接続している機器は動作していますか？待機状態やスリープモードになっていないか確認してください。必要に応じて再起動してみてください。 ● ネットワークに接続している機器はファイルの共有を許可していますか？接続している機器の設定を変更してください。 ● ネットワークに接続している機器のフォルダーが削除または破損していませんか？接続している機器に保存されているフォルダーを確認してください。	**30ページ** **サーバーの取扱説明書を参照**
接続しているネットワーク上の機器にアクセスできない。	● 接続している機器の設定は正しいですか？クライアントを自動で承認（許可）したときは、あらためて入力する必要があります。接続の設定が「許可しない」になっていないか確認してください。 ● 接続している機器に再生できるファイルはありますか？接続している機器に保存されているファイルを確認してください。 ● 接続している機器の電源を、本機よりもあとにオンしていませんか？接続している機器の電源を本機よりも先にオンするか、一度本機の電源をスタンバイにして再びオンしてみてください。	
音声が途中で停止したり乱れたりする。	● 本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。 ● フォルダーが壊れていないか確認してください。 ● 本機で再生できる拡張子がついたファイルでも再生できないことや表示されないことがあります。 ● 同一ネットワーク上の他の機器でインターネット通信が行われているなど、ネットワークの通信が混雑している場合は、正しく再生できないことがあります。	**38ページ**
Windows Media Player 11 に接続できない。	● OS に Windows XP を使用しているパソコンで、ドメインにログオンしていませんか？ドメインではなく、ローカルマシンにログオンしてください。	**30ページ**

症状	原因/対策	参照ページ
インターネットラジオが再生できない。	● ネットワーク機器のファイアウォールが働いていませんか？ネットワーク機器のファイアウォールの設定を確認してください。 ● インターネットの接続が切断されていませんか？ネットワーク機器の設定が正しいことを確認し、必要に応じてネットワーク接続業者にお問い合わせください。 ● 放送局リストで選択できる放送局でも、放送を中断または中止していて再生できないことがあります。	ネットワークセットアップガイドを参照 57ページ
USB メモリーのフォルダーや音楽ファイルが表示されない。	● フォルダーや音楽ファイルがFAT 領域以外に保存されていませんか？フォルダーや音楽ファイルを FAT 領域に保存してください。 ● フォルダー内の階層を 8 階層以内にしてください。 ● 1つのフォルダー内が2000 以内のフォルダー/ファイルになるよう保存してください。 ● 著作権保護がかけられているUSB メモリーの音楽ファイルは再生できません。	36ページ 36ページ 36ページ
USB メモリーを認識できない。	● USB メモリーは、USB マスストレージクラスに属していますか？ USB マスストレージクラスに属する USB メモリーをお使いください（ただし、USB マスストレージクラスに属する USB メモリーであっても、本機で再生できないものもあります）。 ● 本機は USB ハブには対応していません。 ● 本機が USB メモリーを不正な機器と認識していることがあります。一度本機の電源をスタンバイにしてから、再びオンにしてください。	29ページ 29ページ 29ページ
USB メモリーを接続していて画面には表示されるが再生できない。	● USB メモリーのフォーマットが FAT16 または FAT32 であるか確認してください。FAT12、NTFS、HFS は本機で再生することができません。 ● ファイルに DRM コピープロテクト（著作権保護）がかかっていませんか？著作権保護のかかった WMA や MPEG-4 AAC のファイルは再生することができません。パソコンなどで CD などの音楽データを取り込む場合、設定によっては著作権保護がかかることがあります。 ● 本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。	29ページ 38ページ
iPodを接続してもiPodのカテゴリーが表示されない。	● 本機は、第四世代以降の iPod および iPod mini、iPod nano、iPod Photo に対応しています。これ以前の iPod は本機ではご使用になれません。 ● iPod のソフトウェアのバージョンによっては本機で操作できないことがあります。最新のバージョンのソフトウェアでご使用ください。	29ページ 29ページ
曲名やアーティスト名、アルバム名が表示されない。	● ネットワークオーディオ再生時は、ご使用しているサーバーの対応に依存しますので、詳しくはサーバーの取扱説明書をご確認ください。また、USB メモリー再生時は、ID3 タグのバージョン 2.x または WMA のメタタグのみに対応しています。ID3 タグのバージョン 1.x には対応していません。	

● 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

こんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、 お買い上げの販売店にご連絡ください。

表示	意味／対処
Can't use during "SACD"	SACDを再生中に、**サウンド**ボタンまたは**サウンドレトリバー**ボタンが押されました。 SACDを再生中は、サウンドモードとサウンドレトリバー機能を切り換えることはできません。
Can't use during "This Function"	LINE、PHONO、TUNER以外の入力（ファンクション）のときに、**デジタルNR**ボタンが押されました。これらの入力（ファンクション）では、デジタルノイズリダクション機能は使用できません。
Can't use during "Wake-up"	目覚ましタイマー(Wake-upタイマー)動作中に、**スリープ**ボタンが押されました。目覚ましタイマー(Wake-upタイマー)動作中は、スリープタイマーは使用できません。
Can't use during "Tray Lock"	ディスクトレイがロックされています。本体の**⏏OPEN/CLOSE**ボタンを8秒以上押してください。"**Tray Lock Off**"と表示され、ロックが解除されます。
Connection Down	ホームメディアギャラリーで選んだカテゴリーや放送局にアクセスできません。
EEPROM Error	故障の可能性があります。お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。
empty	選んだフォルダーに何もファイルが入っていません。
File Format Error	何らかの原因で音楽ファイルやインターネットラジオの放送局を再生できません。
License Error	選択した曲の再生が許可されていません。
Network Problem	ネットワークの設定に問題があります。設定を確認してください。 本機の設定を変更したときに表示されることもあります。その場合はしばらくお待ちください。
Out Of Range	ネットワークの設定で入力した値が、設定できる値ではありません。
Preset Not Stored	インターネットラジオの放送局が登録されていないステーションを選択しました。
Please Wait	パソコンなどのネットワーク上の機器にアクセス中です。しばらくお待ちください。
Server Disconnected	サーバーの接続が切断されました。
Server Error	選んだサーバーにアクセスできません。
Track Not Found	選択した曲がネットワーク上で見つかりません。
USB Error	USBメモリーの消費電力が大きすぎて電力が供給できません。ACアダプターが付属されているUSBメモリーをお使いの場合は、ACアダプターを接続して使用してみてください。

使用上のご注意

注　意

この製品はJIS C 6802規格の基で評価されたクラス1レーザ製品ですが、内部にはクラス1のレベルを超える危険なレーザ放射があります。
分解や改造などは絶対に行わないでください。

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

注意　ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。
ARW7316−A

クラス1
レーザ製品

D3-7-12-5-5_Ja

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- ・直射日光のあたる所
- ・湿気の多い所や風通しの悪い所
- ・極端に暑い所や寒い所
- ・振動のある所
- ・ホコリの多い所
- ・油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない
本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように
本機を他のアンプなど熱を発生する機器の上に設置しないでください。ラックの中に設置する場合は、他のアンプやオーディオ機器から発生する熱を避けるため、これらの機器よりもできるだけ下の棚に設置してください。

本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

レシーバー部、X-Z7 スピーカー部

- 通常は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で５～６ 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあとに乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに付属の注意事項をよくお読みください。

X-Z9 スピーカー部

- 通常は付属のクリーニングクロスでお手入れしてください。
- 本機は表面保護のためのピアノ用クリーナーを塗布しています。開封時に表面がくすんだりムラになって見える場合があります。その際はやわらかい布で一度全体を水拭きし、そのあと乾いた布で拭いてください。
- お手入れの際は、市販されているピアノ用クリーナー（鏡面ツヤ出し用）をご使用ください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、塗装が変色することがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに付属の注意事項をよくお読みください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 〜 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ライセンスについて

FLAC

FLAC Decoder
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は裏表紙の「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

53～57ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：コンパクト Hi-Fi システム
- 型番：X-Z9 / X-Z7
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

**長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？**

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

仕様

レシーバー部 (XC-Z9 / XC-Z7)

■ アンプ部

実用最大出力（JEITA 4 Ω）..........................50 W+ 50 W

■ チューナー部

FM チューナー部
　受信周波数................................76.0 MHz ～ 90.0 MHz, TV 1 ch ～ 3 ch 音声
　アンテナ..75 Ω 不平衡型
AM チューナー部
　受信周波数................................. 522 kHz ～ 1 629 kHz
　アンテナ ....ループアンテナ（付属）

■ LAN 端子

1 系統、10BASE-T/100BASE-TX

■ その他の入出力端子

電源供給部
USB 端子...5 V, 500 mA
iPod 端子...最大供給電力 5 W

■ 電源部

電源電圧....................................AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力..47 W
スタンバイ消費電力.. 0.4 W

■ その他

外形寸法..........................386 mm X 88 mm X 347 mm（幅）X（高さ）X（奥行）
質量.. 5.0 kg

■ 付属品

リモコン 1
AA/R6 単 3 形乾電池（動作確認用）..................................2
電源コード 1
AM ループアンテナ 1
FM 簡易アンテナ 1
保証書... 1
取扱説明書（本書）
ネットワークセットアップガイド

スピーカー部 (S-Z9-LR)

型式...位相反転式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
スピーカー構成（3 ウェイ方式）
　ウーファー..13 cm コーン型
　ミッド / トゥイーター
　........................... 同軸 13 cm コーン型 /3 cm ドーム型
公称インピーダンス ....4 Ω
再生周波数帯域................................. 36 Hz ～ 50 000 Hz
最大入力 .... 50 W（JEITA）
外形寸法 ....210 mm X 370 mm X 305 mm（幅）X（高さ）X（奥行）
質量...9.6 kg

■ 付属品

スピーカーコード..2
滑り止めパッド...8
クリーニングクロス 1

- 本製品は、GP Acoustics（UK）Ltd. およびその関連会社が所有する日本特許第 2766862 号の請求範囲に入ると解釈される可能性を考慮して、同社からライセンスを受けた製品です。KEF および UNI-Q は GP Acoustics グループ会社の登録商標です。

スピーカー部 (S-Z7-LR)

型式...位相反転式ブックシェルフ型
低磁気漏洩設計
スピーカー構成（2 ウェイ方式）
　ウーファー..13 cm コーン型
　トゥイーター.. 2.5 cm ドーム型
公称インピーダンス ....4 Ω
再生周波数帯域................................. 40 Hz ～ 38 000 Hz
最大入力 .... 50 W（JEITA）
外形寸法 .... 180 mm X 300 mm X 290 mm（幅）X（高さ）X（奥行）
質量...5.9 kg

■ 付属品

スピーカーコード..2
滑り止めパッド...8

- このスピーカーシステムのキャビネットの仕上げには、天然木材が使われています。このため、塩ビ化粧材などに比べ、色の艶や深みなど素晴らしいものがあります。これらは天然材のため、同じ柄のあるものは 2 つと存在しません。この点をお含みくださり、ご使用をお願いいたします。

仕様および外観は改良のため 予告なく変更することがあります。

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	郵便番号	住所
☆札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	郵便番号	住所
☆仙台サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	郵便番号	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	郵便番号	住所
新潟サービス認定店	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX 047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
☆神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	郵便番号	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆大阪サービスセンター	FAX　06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX　078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX　075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆広島サービスセンター	FAX　082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX　086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　(有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1Ｆ
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル1Ｆ

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆福岡サービスセンター	FAX　092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX　093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	TEL/FAX	〒	住所
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3Ｆ

平成19年2月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品	■0070－800－8181－22	■一般電話　03－5496－2986
■ファックス	03－3490－5718	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120－5－81028（ゴーハイオニア）	■一般電話　03－5496－2023
■ファックス	0120－5－81029	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります	

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098－879－1910
■ファックス	098－879－1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120－5－81095	■一般電話　0538－43－1161
■ファックス	0120－5－81096	

平成19年2月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.022

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<ARA7241-C>